

リツめい

題字・木川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
256

2014
APRIL

Brilliance
輝くひと
88

より濃く、生きてほしい。
立命館大学女子陸上競技部駅伝チームコーチ
十倉 みゆきさん（96産社）

巻頭
特集

輝く★リツ女

03 巻頭特集

輝く☆リツ女^{ジョ}



SPECIAL

01 輝くひと

十倉みゆき さん

10 校友会未来人財育成基金

12 震災関連記事

福島大学次期学長 中井勝己さん

立命館大学校友会東日本大震災復興支援金について

14 海の向こうの立命人

VAC Yangon Co.,Ltd代表 迫川敏明さん

15 校友会ネットワーク

16 都道府県校友会・学部校友会連絡先一覧

18 立命館はご卒業後もあなたのそばに

20 立命館の研究者たち

文学部 北岡明佳教授

22 校友NEWS

校友会・グループインフォメーション

24 学生イベント&スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +R+人

西崎芽衣さん

30 INFORMATION

編集室から



20



24



29

| 輝くひと |

立命館大学女子陸上競技部
駅伝チームコーチ

十倉 みゆき さん
(’96産社)



より濃く、生きてほしい。

全国の大学女子駅伝チームが頂点を目指す『杜の都全日本大学女子駅伝』と『富士山女子駅伝』。昨年の二大レースで、立命館大学チームは見事ダブル優勝を果たした。全国屈指の強豪チームの陰の立役者が十倉みゆきさんだ。

実業団を辞めて母校に挨拶に来た数日後、「予定していた人が急遽引き受けられなくなった。とりあえず1年つないでくれ」と、突然のコーチ就任依頼。今でこそ他大学がこぞってマークする精鋭集団だが、就任時はトップとはほど遠い位置にいた。「全国では15位前後で、目標意識も格段に低かった。選手には厳しい練習や生活管理の意義を受け入れてもらえず、最初にはもめることも多かった。でも、辛さを超えたところに本当の感動があるということを知ってほしかった」。高校生の頃から自身も陸上競技と向き合ってきた。「選手としてはまったく実績はありません。当時は考えすぎたり、練習しすぎたりして、迷ったり、不安になったりすることがよくありました。それでも一生のうちに何か一つのことに熱く打ち込める瞬間がほしくて、大学卒業後も実業団で走ることを選びました。自分なりに精一杯やり尽くせば、きっと何か見えてくるはず。その何かがいつか活かされ、伝えられるはずだから」。成功も失敗も含めて自らと卒業生たちが遺した「経験」という贈り物を現役選手に語りつなぐ。

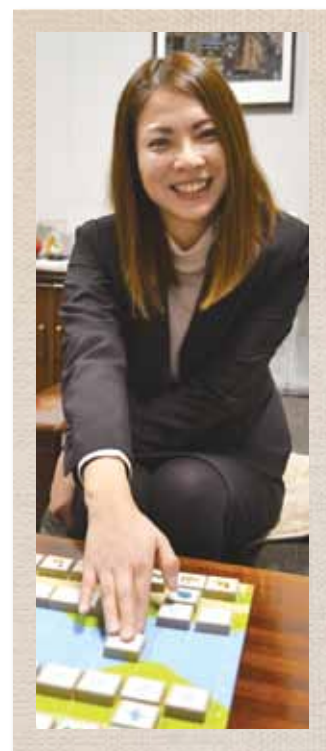
選手育成にあたるだけでなく、将来の新星発掘のためスカウトにも飛び回る。「選手としての資質は大切。でも、そこに本人の強い意思がなければ才能も活かされない。だから私が一番重視するのは『立命館で戦いたい』という気持ち。今の選手たちも、走力や状況はそれぞれ違ってもこのチームで戦うという思いはみんな強く持っている」。2014年も、目指すのは日本一。「これからは世界を目指す選手が出てきてくれたら嬉しい。競技者として活躍できる時間は、一生のうちそんなに長くありません。だからこそ妥協せず取り組み、より密度の濃い、感動の多い時を過ごしてほしい。感動こそが自分への成長の糧であり、お世話になった方々への恩返しの際になると思うから」。

(写真・小幡豊 文・平松万知)

｜ 巻頭特集 ｜

輝く☆リツ女^{ジョ}

あらゆる分野で女性パワーが際立つ今日この頃、
立命館大学出身の女性『リツ女^{ジョ}』たちの活躍もスゴインです！
夢や目標に向かって自分らしく歩みを進める、
今をときめくりツ女の姿をごらんください。



激動のミャンマーで 新ビジネスに取り組む

Myanmar White Elephant Cookies

新谷 夢 さん（10 経営）

Yume Shintani



民主化が進み急速に発展を遂げるミャンマー。新谷夢さんは学生時代からの夢を実現させようと、2年前、躍動するこの国に飛び込み、このほど「お土産ビジネス」を立ち上げた。

チャンスを生かし、念願のアジアへ

大学時代、起業家の養成を目指すアントレプレナーコースに進んだ新谷さん。周りには独立志向の強い学生が多く、なかには1回生の頃から起業している学生もあり、「自分で何かをスタートさせること」に興味を持つようになった。また、カナダへの留学（UBCプログラム）や、バックパックを背負った様々な国への旅を通して「海外」を意識し始め、その中でも特に気に入った東南アジアでいつか働きたいと思うようになった。「知らない土地で何かを始めるのは苦労も多いけれど、その分、発見や学ぶことも多く、やりがいがあるように感じた。何よりも、私にとって毎日ワクワクしながら仕事ができるのは海外だと思いました」。

異文化に触れた経験から日本のホスピタリティ精神の素晴らしさを認識し、海外に出る前に質の高い日本のサービスを学ぼうと、大学卒業後は地方銀行に就職。2年が過ぎた頃、父親の知り合いがミャンマーで不動産会社を始め、現地の人材を募集しているという話を耳にし、「これはチャンスだ」とミャンマーに渡ることを決意した。

新しい環境の中に起業の芽を発見

ミャンマーの新生活では、不動産会社で駐在員向けの物件案内を担当し、そのかたわらで「何かを自分で始めたい」という学生時代からの想いを温め、起業の芽を探し続けてきた。そうしてミャンマーを訪れる人々と接するなかで、「この国にはお土産となるようなものがまだあまりない」ということに気づき、「ミャンマーの豊富な資源を活かした名産品を作って、ミャンマーの良さをたくさんの人に伝えたい」と、「お土産ビジネス」の起業を思い立った。

「ミャンマーらしさ」をおいしいお菓子で表現

ミャンマーの新しい名産品を目指して誕生したのは、オリジナルの『ナンカタインクッキー』。ミャンマーの伝統的なお菓子であるこのクッキーを、砂糖の量や焼き具合の調整を重ねて、幅広く好まれる理想の味に実現した。

納得のいく商品を完成させるため、新谷さんはヤンゴンの様々な菓子店を回り、「これだ!」と思う店に何度も通って商品開発の協力にこぎつけた。商品化では、パッケージ等のサンプルを作ってもらえず完成日に実物を見るということも多々。

イメージしていたものと違う仕上がりになり、一からやり直しになることもあった。「拙い語学力と身振り手振りでこちらの希望を必死に伝えるのですが、十分理解してもらえず誤解が生まれることもよくあります。でも、苦労して開発した商品だからこそ、お客様に満足してもらえた時には、心から作ってよかったという気持ちになる」。ナンカタインクッキーに続いてコーヒークッキーやピーナッツブラリネと、新しい商品も発表。商品はできるだけミャンマー産の素材にこだわり、オーガニックの材料を使った商品の開発にも取り組んでいる。「より『ミャンマーらしさ』が伝わるお菓子を作れるよう、現在新商品開発に向けて試行錯誤中です!」

お土産市場を活性化!

言葉や習慣の違いだけでなく、法整備やインフラも不十分



心の底から湧きだす好奇心。ミャンマーの「先が読めない毎日(笑)」はとても楽しく、好奇心を刺激されています。そして笑顔と素敵な心を持ったミャンマー人。この国で仕事ができることを、とても幸せに思います。

商品についてのお問い合わせは

Myanmar White Elephant Cookies

E-mail myanmarcookies2013@gmail.com

私にしかできない ものづくりを

ながれのかばんやえいえもん

山内麻衣 さん（'04理工）

Mai Yamauchi



東京の下町の風情を残す谷中・根津界限。晴れた日の週末に、この町のどこかで^{のぼり}幟をはためかせた素敵な自転車を見かけたら、ちょっとひと声かけてみてほしい。それはきっと山内麻衣さんの移動販売のかばん店『ながれのかばんやえいえもん』だ。

リケジョから「職人」の道へ

山内さんは、理工学部出身の「リケジョ」。「将来は企業の研究所などに勤める研究者になるんだろうなと想像していたんです」と話すように、就職活動では当初、理系の学びを活かした進路を探っていた。しかし活動が続けるなかで本当にやりたいことを突き詰めると、幼いころから大好きだったものづくりへの想いに行き着き、職人の道を目指そうと決意。まずはものづくりに近づくため、卒業後、上京して工具や材料などを扱う企業に就職。その間に、手仕事の文化が根付く谷中・根津界限に通うようになり、町の気風に触発されて「この町で、自分の手でものを作り、売る、ということがしたい」と強く思うようになった。憧れのかばん職人の元に飛び込みで弟子入りし、4年半の修行を経て、2008年、独立・開業の夢を実現した。



実験に明け暮れた大学時代

店はオリジナル自転車『えいえもん号』

山内さんの店は自転車。店名が表すように、自転車で町の中を移動しながら販売するスタイルだ。荷台に作り付けられた岡持ちのような箱を開いて、種類豊富なかばんや布小物を並べれば、レトロな自転車があつという間に一風変わった店舗に早変わりする。「ひとりでできる範囲でやっていくにはどんな形が可能かと考えていると、自分で商品を運んで、お客さんと顔を合わせて販売ができる昔の行商スタイルがちょうど理想の形なのじゃないかと思って。それにこの町の雰囲気なら行商スタイルも似合う。そんなことを考えていた時に、店となる自転車を作ってくださいる自転車職人の方や、いくつかの出逢いが重なり、この方法で始めることにしました」。見慣れない行商の様子に、当初は住民から冷たい態度をとられることもあったが、山内さんの熱意が徐々に通じ、今では「えいえもん」の行商も町の景色にすっかり馴染んだものになった。「行商は簡単にできるやり方だけれど、商店街や住民の方々の協力がなければできないこと。本当に感謝の気持ちでいっぱいです」。



ものづくりへのこだわり

「えいえもん」の商品は、山内さんの故郷・滋賀県高島市の特産品である高島帆布を使用している。生地や大きさ、形など、お客の希望を丁寧に聞き取って制作するオーダー制で、デザイン、裁断、縫製、すべての作業を山内さんひとりでこなす。「普通は分業でやるところをひとりでやっているの、逃げられないから大変（笑）。でも、うまくいかない時にはやり方を変えてみたり、目指す結果を出すためにどんなプロセスが必要かを考えたりして、必ず自分で答えを見つける。目標を先に決めてそこから逆算して考えるという、大学時代に身につけた理系のチャレンジの仕方は、今とても役に立っています」。対面販売はお客からダイレクトに反応が返ってくるのが怖さでもあり、やりがいでもある。「人見知りなので、私にとっては販売も大きな壁でしたが、やりたいことだと思うと苦手も克服できた。苦労はあるけれど、自分のやりたいことができるというのは一年々々が楽しみです」。

アトリエ開設へ

開業から5年。お客とのより良い関係を築くため、このほど公開可能なアトリエを開設した。「長くものづくりで生きていくことを考えると、お客様に来ていただけるアトリエを構えたいと思うようになった。一方で、おもしろい出会いがあるのは自ら動く行商ならではの。ライフワークとして、おばあちゃんになっても行商は続けていくつもりです」。ものづくりの幅を広げるために、今後はジャンルを越えて様々な人と交流するのが目標だ。「人が増えると世界が広がる。ひとりでできることが限られるけれど、誰かと一緒にやれば大きなことができる。行商地方巡業や、子どもたちに教えるのも含めたワークショップなどにもチャレンジしてみたい。夢は広がります」。



ものづくりをしている仲間、声をかけ合える町の仲間がいてくれること。明日も頑張ろうという気持ちになります！

2月20日、『ながれのかばんやえいえもん』のアトリエがオープンしました！

場所 東京都文京区千駄木2-20-10-1階

OPEN 毎週水・木・金の13～19時、雨天の土日13～17時 ※晴天の土日は従来どおり移動販売

HP <http://eiemon.com/>

ははごころ 母心を特技に結び 新商品を開発

紙加工メーカー 中山商事株式会社 知育教材開発部

石内奈々絵 さん（'06国関）

Nanae Ishiuchi



ほのぼのとした恐竜たちが明るい色づかいで描かれた紙製の知育教材『きょうりゅうしょうぎ』。福井発の「新しい将棋」として注目を集める同商品を開発したのは、元女流アマ将棋名人の石内奈々絵さんだ。

将棋とともに成長した青春時代

石内さんが将棋に出逢ったのは小学2年生の頃。高学年になると、週末のたびに福井から大阪のプロ棋士育成機関に通い、中学生でセミプロに。大学時代は将棋研究会で仲間たちと切磋琢磨し、2003年、2回生の時に女流アマ名人となった。その後7冠を獲得するなど活躍し続け、出産を機に一線を退いた。



合宿で、将棋研究会の仲間たちと

三つの「得意」を合わせて誕生

「『きょうりゅうしょうぎ』は、会社と福井と私、みんなの得意なものを合わせて生まれました」。故郷の福井に戻って就職した老舗紙加工メーカーは、社員からの積極的な提案を歓迎しており、石内さんも地域貢献を目指したアイデアの数々を提案してきた。しかし、なかなか実現には結びつかず、「もっと分かりやすい、目に見える形になったコンテンツは何だろう?」と考える中で、会社と石内さんの特技である紙と将棋、そこに福井という土地の特徴である恐竜を組み合わせた「知

育教材」のイメージが浮かんだ。

遊びを通して子どもの能力を伸ばしたい

開発の際にこだわったのは、まず素材。紙加工メーカーの特色を生かして厚紙で作った駒や盤は、木のように丈夫ながら、より軽く、手にした時に感じるふんわりとした温かみが魅力だ。そして「知育」。遊びを通して集中力・記憶力・先読み力・想像力と、四つの力を育てることができる。商品化にあたって、石内さんは将棋での経験をヒントに、我が子が遊ぶ様子からの気づきを形にしていって。「子育てをする中で知育に興味を持つようになり、どうすれば遊びを通して子どもの脳を育てられるのかを考えました。最初に『こんなトレーニングから、この能力が培われた』と一つひとつ書き出して、それを子どもが楽しめるように何度も練り直して。実際に娘に遊んでもらって『こんな遊び方ができたらおもしろいかも』と修正を重ね、将棋としてだけでなく、自由な遊び方の中で四つの力を育てられるように工夫しています」。

商品化には、当初、社内全体が賛成していたというわけではなかった。「知育教材という発想は会社にとっても初めて



のことで、製造現場側からはいい顔をされませんでした。でも私には、この商品を手に取った子どもたちが楽しんで遊ぶ姿が強くイメージできた。だからなんとしても完成させたくて、現場側も応援してくれるようになるまで熱意を伝え続けました。弊社の商品は企業向けの中間材料が多いのですが、きょうりゅうしょうぎのように最終形態の商品としてエンドユーザーの手に渡るものは、リアルな反応があるため緊張や喜びが大きく、現場にとってもやりがいに変わりました」。

娘への想いが仕事へと広がった

きょうりゅうしょうぎは、自社の専用サイトや書店店頭のほか、玩具大型量販店の『トイザらス』でも取り扱いを始め、全国へ販路を広げている。児童向けに遊び方教室なども開催し、石内さん自ら講師として各地に赴く。

「知育教材という分野は、私にとっても、会社にとっても大きな成長になったと思います。会社とともに成長できるのは楽

しみでもあり、誇りでもあります。これからも第二弾、第三弾と打ち出していけるように、もっともっとチャレンジし続けたい」。持ち前の発想力と行動力だけでなく、シングルマザーとしての経験も仕事での成長を押し上げたという。「仕事があって、娘とずっと一緒にいてあげられないからこそ、愛情をぎゅっと凝縮した時間を過ごしたいと思うようになった。子どもの可能性を伸ばすために良い環境を整えるにはどうすればいいのかという思いが強くなり、それが仕事へと広がっています。目標は、達成すれば通過点。そこで終わらず、常に新しい目標に向かうことでレベルアップすることができる。『次はどんなことをしようか』と、いつも楽しみながら考えています」。



娘の笑顔。それがあから仕事も頑張れる。休みの日は一日中娘と一緒に遊んで、気分をリフレッシュ。会社や両親も、仕事と家庭の両立を支えてくれています。

『きょうりゅうしょうぎ』についてのお問い合わせは

中山商事株式会社 (0776-53-8000 / 平日9:00～17:00)

専用HP <http://kyoryu-shougi.com/>

そのほか、ブログ、facebookなどでも情報発信中です!



校友会未来人財育成基金

～校友による新たな「後輩・母校支援」の形～



立命館大学校友会は、母校に学ぶ後輩を支える恒常的で息の長い支援の具体化として「校友会未来人財育成基金（以下、基金）」の創設を大学に申し入れ、感謝の意をもって了承されました。基金への支援は立命館大学への寄付となります。

校友会は立命館大学とともに基金の募集推進を2012年10月から行なっています。**2014年1月26日までに1,047名・24団体・5法人から1,822件28,235,778円**のご支援をいただいています。皆様のご協力に感謝申し上げます。

校友一人ひとりが主人公となり、「立命館の未来を創る」活動にあなたもぜひご参加ください！

未来人財ニュース！

ご支援くださった方が1,000名を超えました！

基金へのご支援者が2014年1月に1,000名を突破しました。幅広い世代、北海道から沖縄まで全国からの温かいご支援に心から御礼申し上げます。今後とも息の長い継続的なご支援をお願いいたします。

継続的なご支援のお申込方法は、下記の募集要項のとおり「WEB」と「書面」の2種類がございます。「書面」をご希望の場合は、校友会事務局までお問い合わせください。専用申込用紙（口座振替）をお送りします。

南都銀行立命会から35件の継続支援のお申込みがありました！

職域校友会の南都銀行立命会から「口座振替用紙」による35件の継続支援のお申込みがございました。南都銀行立命会では、その後も会員の校友に継続寄付を呼びかけるなど、ご支援の輪を広げる活動を展開していただいています。

みなさまからの息の長いご支援をお待ちしております！

募集要項

1. 寄付の金額

- (1) 個人の場合／ひと口1,000円からご支援いただけます。
（継続的な寄付〔毎月・毎年・年2回〕をぜひお願いします）
- (2) 法人の場合／ひと口の金額は特に定めておりません。

2. 募集期間

期間に定めはありません。

3. 寄付の目標額（第1次活用プラン）

10億円（2012年10月1日～2020年3月31日）

4. 申込方法

① WEBで申込む

立命館大学校友会のホームページよりお申込みください。
簡単な手続きで完了いたします。
クレジットカードをはじめ銀行振込・コンビニ決済など多様な方法にてご寄付いただけます。

<http://gift2r.info>



←携帯電話からのアクセスはこちら！

※一部機種によってはご覧いただけない場合がございます。



② 書面で申込む

校友会事務局に資料をご請求ください。
銀行振込・口座振替にてご寄付いただけます。

5. 第1次活用プラン（2012年～2020年）

「学生×校友×京都」グローバル人材育成交流拠点の設置
～過去・現在・未来を結ぶ空間、校友の経験値を後輩に繋ぐ出発点～

6. 税制上の優遇措置について

本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

お問合せ先

（受付時間：土日祝を除く9：00～17：30）

- 校友会未来人財育成基金に関しては・・・立命館大学校友会事務局 075-813-8216
- 寄付の受入れ、税制上の優遇措置に関しては・・・立命館 総務部 寄付事務局 075-813-8110



支援者の声

Supporter's Voice

社会人入学された校友にインタビューしてきました！

な ぎ ら き み え
柳楽規美枝さん（'01経済）

立命館との出会い

息子[柳楽正之さん（'00経済）]の立命館大学への進学に伴い、父母教育懇談会に出席したことがきっかけでした。それまで抱いていた大学に対するイメージとは異なるハートフルで気さくな先生と、立命館の学びの内容に興味を持ち、翌年、息子と同じ経済学部にて社会人入学しました。

満喫した学生時代に得た財産

仕事や家事、介護等との両立のため、試験前にはほぼ寝ずに勉強したこともありましたが、4年間毎日朝晩車で送り迎えてくれた夫の協力をはじめ、家族や職場、友人の支えのおかげで、とても有意義な日々を過ごすことができました。複数の論文を書き上げ、父母教育後援会から優秀賞をいただいたことは、とても大きな喜びでした。また、立命館大学で初めて社会人と学生と一緒に活動するグループである「ハートフルコミュニケーション部」を立ち上げ、仕事の人脈を生かした篠田正浩監督の講演会の企画など、学生生活を満喫しました。また、世代を超えた多くの友人ができたことは大きな財産です。



苦楽を共にした友人とは今でも交流があり、結婚式など、当時の仲間と集まる機会ではいつも楽しい時間を過ごしています。

現在のお仕事について

メナード化粧品高槻中央販売株式会社の代表取締役社長として、メナードの素晴らしさを多くの人に伝えるために広告塔としての活動を行なっています。365日着物を着ていることもあり、テレビや雑誌に取り上げていただく機会も多く、嬉しく思っています。学生時代も毎日着物で通学しており、学生の友人と一緒に着物姿で課外活動の取材も受けました。



基金への想い

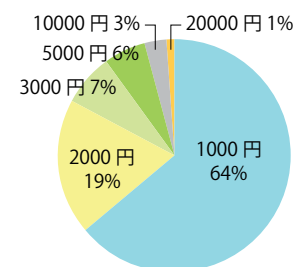
私は、「自社製品で一人でも多くの人を幸せにしたい」という信念のもと、日々仕事に取り組んできました。その後、大学の授業で経済学部の先生が口にされた「経済学とは『人間学』であり、『人間への愛』である」という言葉がとても印象深く心に残りました。まさに自分が大切にしていた想いそのものと感じたからです。

この基金も「人の幸せを願い、想いをつなぐ」という意味で同じであると考えています。立命館が大好きで、常々後輩を支援したいという想いをカタチに変えたいと支援しました。この基金への支援の輪が広がり、より多くの後輩が、心豊かな学生生活を送り、母校を誇りに思うことを願っています。

これまで寄せられている継続的なご支援の実績

（※2014年2月13日までの入金実績）

● 金額別割合（毎月のご支援）



★多くの方に月1,000円からの継続的なご支援を行なっていただいています！

ご支援者インタビューが掲載されています！

基金にご支援いただいた方々のインタビュー記事が立命館大学ホームページに掲載されています。支援のきっかけや、学生時代の思い出、後輩・母校立命館への想いなどが紹介されています。新潟・山口・鹿児島県など全国各地の校友の声が掲載されていますので、立命館大学ホームページからぜひご覧ください。

※基金に限らず学園にご支援いただいた方のインタビューが掲載されています。

立命館 ご支援者インタビュー

検索



次代の災害復興の担い手を育てたい

このほど国立大学法人福島大学の新学長に、同大学行政政策学類教授で福島県校友会幹事でもある中井勝己さんが選出されました。就任にあたって「災害復興教育に力を入れる」との方針を打ち出した中井次期学長に、その思いを伺いました。

福島大学次期学長

中井勝己 さん（'75法、'78院法修）Katsumi Nakai



Profile 兵庫県出身。日本学術振興会奨励研究員、福島大学経済学部助手、福島大学行政社会学部助教授などを経て、1995年から行政社会学部教授。2003年行政社会学部長、2006年福島大学理事・副学長、2013年からうつくしまふくしま未来支援センター長（学長特別補佐）。2014年4月1日より、福島大学学長。

被災者への息の長い支援こそ大学の使命

以前4年間、副学長として学長をサポートしてきた経験から、学長という立場の責任の重さはいたく感じています。福島は震災と原発事故によって、幸か不幸か世界的に知られるようになりました。地元の国立大学である福島大学に対する期待や要望はたくさんあると思います。被災した方々の心に寄り添いながら息の長い支援を続けていくことが福島大学の使命だと考えています。

震災・原発事故後の学問における転換

震災後、どの分野でも、教員が授業の中で大震災・原発事故の話をする機会が増えました。たとえば私が専門とする環境法では、原発事故前までは放射能汚染は環境基本法の対象に含まれていませんでした。原発の安全神話に基づいて法律の体系ができていたからです。けれどこの災害でそんな前提は崩れてしまった。法律も改正され、環境基本法の中で放射能汚染を含めるようになりました。どの学問でもこれまでの「当たり前」を壊さないといけないということになってきています。

福島の復興の難しさ

一番難しい問題は低線量被曝。健康被害があるのかないのか、科学的な知見がまだないので、住民はそれぞれの判断で行動しなくてはなりません。しかし答えがないからこそ、考え方の違いが対立を引き起こし、住民間だけでなく家族内でも心の分断を生んでいます。

たくさんの住民が村の外へ避難した農村では、少子高齢化が20～30年早まったといいます。放射線量が下がれば故郷に帰れるかということそんなに簡単な話ではありません。就労、医療・福祉、教育などの暮らしの基本が大きく弱体化しています。帰還して以前の地域に再び溶け込めるのか、元の生活を取り戻すことができるのか、避難した方も、残った方も不安でいっぱいなのです。もはや単に放射線被曝の問題ではなくなっています。

復興教育プログラムを充実

学生の中には「福島の復興のために福島大学で何かしたい、学びたい」という志で進学してくる子もいます。大学としてもその思いに応えられるように、復興の担い手となる人材の育成を目指して教育上のプログラムをこれまで以上に充実させ、最大限のものを提供していくつもりです。

担い手と言っても、復興への関わり方はそれぞれの形でかまいません。卒業後に地元の市町村などに就職して直接復興に携わるという形、直接的に関わることはなくてもいつも福島のことを気にかけているという形、自分らしい関わり方を一人ひとりが選ぶ。そんな多様性を大切にしたい。原発事故の影響で、福島には今でも復旧・復興に取り組むことができず、3年前のまま時が止まっている地域がたくさんあります。ぜひ学生自身が震災・原発事故の深刻さを肌で感じながら学ぶ機会としてもらいたいですね。

立命館大学校友会東日本大震災復興支援金について

2013年11月1日～2014年1月31日に以下の皆様方から復興支援金をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

● 個人（卒業年・50音順）※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

● 団体・グループ・企業（50音順）

技術士会

山口県校友会

合計 16,054,673円 2014年1月31日現在

（ 個人 5,912名 11,627,894円 ）
（ 団体・グループ 178件 4,426,779円 ）

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。
なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

復興支援金募集

復興支援特別委員会は今後の復興支援事業のあり方について東北三県（岩手県、宮城県、福島県）校友会と協議し、被災地校友会による復興に向けた取り組みのサポートを目的とした「復興支援金」の募集をあらたに開始いたしました。

現地校友会による復興活動を応援するために、引き続き校友の皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

■ 受付方法

募集の期間や口座・金額等は定めておりません。

<個人>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入（入力）は、以下のとおりとしてください。

法学部＝ホウ	経済学部＝ケイザイ
経営学部＝ケイエイ	産業社会学部＝サン
国際関係学部＝コク	文学部＝ブン
政策科学部＝セイサク	映像＝エイゾウ
理工学部＝リコウ	情報理工学部＝ジョウリ
生命科学部＝セイメイ	スポーツ健康科学部＝スポーツ
薬学部＝ヤク	

<団体・グループ>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入（入力）してください。

■ 芳名の公表

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「りつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ トクメイ」

なお、この支援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行ないません。予めご了承ください。
ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル0120-252-094）までご連絡ください。

※校友（個人）へのお見舞金とすることを目的とした「義援金」の受け付けは2013年7月31日をもって終了いたしました。

■ 受付口座

【受付口座1】京都銀行：二条駅前支店

（普）1046732（銀行コード0158：店番コード129）

口座名義 立命館大学校友会復興支援金口

同行本・支店間での振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座2】京都中央信用金庫：三条支店

（普）1206103（銀行コード1611：店番コード006）

口座名義 立命館大学校友会復興支援金口

同金庫本・支店間での窓口利用振込の場合「義援金の振込である旨」お申し出いただくことにより手数料が無料となります。但し、窓口以外の振込（インターネットやATM等）の場合は手数料が発生します。

【受付口座3】みずほ銀行：京都中央支店

（普）2405688（銀行コード0001：店番コード473）

口座名義 立命館大学校友会復興支援金口

同行本支店間・みずほコーポレート銀行本支店からの振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座4】

ゆうちょ銀行口座間の振替、窓口備え付けの「払込取扱票」をご利用の場合は以下へお願いいたします。

口座記号・口座番号 00950-8-164788

口座名義（加入者名） 立命館大学校友会

※誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

他行からの振込の場合は以下へお願いいたします。

ゆうちょ銀行：〇九九店（当）164788

（銀行コード：9900 店番コード：099）

口座名義 立命館大学校友会

※誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

海の向こうの立命人

VAC Yangon Co.,Ltd 代表

迫川敏明

さん(93文)

世界中に広がる校友たちの活躍の舞台。『海の向こうの立命人』では、各国で活躍する校友を紹介します。今回は、ミャンマーで活躍するVAC Yangon Co.,Ltd 代表の迫川敏明さんにインタビューし、ミャンマーの今と、ミャンマーで働くこと、暮らすことについてお聞きしました。



PROFILE
Toshiaki SAKOGAWA

山口県出身。公務員を離れて、1995年上海に語学留学、中国・インドネシアの日系企業で勤務後、2006年ベトナムと東京を拠点にコンサルティング会社「VACコンサルティング」を設立。2012年1月にミャンマーの最大都市ヤンゴンにも拠点を開設し、日本企業のミャンマー進出支援事業を展開している。



From Myanmar



敬虔な仏教徒の国

ミャンマーは非常に敬虔な仏教徒（小乗仏教）の国。ミャンマーの治安が比較的良好な理由の一つは、この仏教信仰にあります。ミャンマーでは、他の国でよく見かけられるようなストリートチルドレンをほとんど見かけません。お寺が親のない子どもの面倒を見ているからです。私がミャンマーに来て一番驚いたのは、街のいたるところに水を入れた甕が置かれていること。これは道行く人がのどが渇いた時に飲めるようにとの心遣いによるものです。仏教の教えは国民の精神面に非常に大きな影響を及ぼしています。

軍政から民政へ、大変革期のただ中で

今、ミャンマーは軍事政権から民主政権への大転換期。この変革期のただ中に身を置いて仕事ができるというのは本当にわくわくすることです。現在私は、ヤンゴンとホーチミン、東京を拠点に、日本企業向けの進出支援事業を行なっています。急速な民主化に伴って、様々な法律が頻繁に改正されるミャンマーで、より現実に即したアドバイスをお客様にしていくことは非常に難しいのですが、その点では先に事業を展開してきたベトナムなどでの経験が活かしています。

インフラの整備はこれからですが、資源が豊富で、ヤンゴン市内には日本のような環状鉄道もあります。お世辞にも新しいとは言えませんが、仕事の面においてもミャンマー人は基本的に素直で謙虚なので仕事の教え甲斐もあり、やはり仏教思想が根底にあるのか、日本人に近い感覚を持っています。アジア各国を仕事で回りましたが、ここまで日本人の肌に馴染む国は、なかなかないと思います。

立命館らしい「気概」を大切に

将来について思うところがあるならば、「好きなことを思い切りやってみればいい」と思うのです。私はかつて公務員の職に就いていたことがありました。良い仕事でしたが、世界で自分の力がどの程度通用するのかを試してみたくて思い切って飛び出してみました。今でも常に不安感がありますが、毎日が充実し、後悔はありません。失敗することもあるでしょうが、何もしないよりはチャレンジするべきだと思います。日本人は豊かになりました。でも何かが足りない気がするのです。自主・自立、あるいは誇りや気概といった、「立命精神」に重なるものでしょうか。立命館らしい気概で、チャレンジし続けていくことが大切です。

日本とミャンマーとのつながりは戦前までさかのぼります。映画『ビルマの竪琴』は、多くの方がご存じでしょう。ミャンマーでは、まだいろんなものが不足しています。まさにこれからの国です。日本は、得意なインフラ関連の支援はもちろん、教育などのソフト面でも十分に貢献できる余地があります。アジアの良き隣人として、日本の政府や企業が果たせる役割は小さくないはずだと期待しています。



2014年2月15日に
ミャンマー校友会を
発足しました！

校友会ネットワーク

詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumei.jp>

2013年11月下旬～2014年2月中旬に行なわれた各団体の行事です(判明分)

ALUMNI ASSOCIATION NETWORK

都道府県校友会／海外校友会

11/30

群馬県校友会総会
(31名・ホテルメトロポリタン高崎)



群馬県校友会

1/19

マレーシア校友会総会
(20名・KL日本人会)

1/25

北海道校友会総会
(約70名・京王プラザホテル札幌)

1/26

東京校友会総会
(約150名・アンフェリシオン)



マレーシア校友会

2/15

ミャンマー校友会設立総会
(5名・KOSAN CAFE 19st)

地域校友会

11/30

広島県西部地区校友会総会
(19名・宮島コーラルホテル)



立命黒部会

11/30

愛媛県校友会新居浜支部総会
(7名・ユアーズ)

11/30

立命黒部会(富山県校友会黒部会)設立総会
(15名・黒部市民会館)

12/7

愛媛県校友会今治支部総会
(20名・笹)



愛媛県校友会松山支部

1/25

愛媛県校友会松山支部総会
(40名・いよてつ会館)

2/1

姫路立命会校友の集い
(60名・総社会館本館)

2/1

遠州会新春懇親パーティー
(36名・ホテルクラウンパレス浜松)



遠州会

2/9

湘南クラブ新年会
(26名・鎌倉芸術館内レストランパウゼ)

職域校友会

12/4

ライオン立命会
(18名・品川プリンスホテル)



ライオン立命会

1/10

大分県庁校友会
(30名・大分アリストンホテル)

1/11

北朋会総会
(20名・ホテル札幌ガーデンパレス)



北朋会

1/22

石川県庁立命会総会
(26名・金沢都ホテル)

学部・学科校友会

11/3

昭和45年度2Lクラス有志同窓会
(6名・がんこ京都駅ビル店)



昭和45年度2Lクラス有志同窓会

11/30

地理学同窓会総会
(48名・京都タワーホテル)

11/30

文学部西洋史専攻同窓会総会
(約15名・衣笠キャンパス)

12/7

辻村・前田・浦山研究室同窓会総会
(46名・東観荘)



辻村・前田・浦山研究室同窓会

1/17

建設会三重県支部総会
(約35名・榊原温泉「清少納言」)

1/25

建立会(建設会大阪支部)総会
(約150名・ヴィアール大阪)

その他の会

1/19

北九州校友会「第25回選抜女子駅伝北九州大会」応援企画
(20名・北九州市内)



北九州校友会

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

2014年2月21日現在

校友会本部役員			
会 長	村上 健治	’70産社	ダイワラクダ工業 (株) 代表取締役会長
副会長	布垣 豊	’61法	京都中央信用金庫理事長
	西村 隆	’63法	前びわ湖放送 (株) 代表取締役社長
	飛鳥井雅和	’64法	(有) ASUKAI企画取締役
	高崎 秀夫	’67法	(株) 京都銀行代表取締役頭取
	小野 守通	’69経営	(株) タクト相談役
	住野 公一	’70経済	(株) オートボックスセブン相談役
副会長	福元 寅典	’72経済	前 (株) 南日本新聞社専務取締役
	松村 勝弘	’72院経営	立命館大学大学院経営管理研究科特別任用教授
	林 幸雄	’73産社	(株) 電広エイジェンシー代表取締役社長
	佐藤友美子	’75文	追手門学院大学地域文化創造機構特別教授
監 事	佐竹 力総	’70法	(株) 美濃吉代表取締役社長
	伊藤 昇	’71法	元 (学) 立命館総務部長
	鈴木 治一	’91法	弁護士

都道府県校友会			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学北海道校友会	千廣 隆章	006－0805 札幌市手稲区新発寒五条1－8－1 中川 均 様	011－251－3373
立命館大学東北海道校友会	合田 賢二	080－0010 帯広市大通南21－18－2 勇昇印刷 本田公一 様	0155－23－7414
立命館大学青森県校友会	水木 洋	030－0803 青森市安方1－5－17 船水重利 様	017－722－2926
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	020－0802 盛岡市つつじが丘7－3 酒井博忠 様	019－654－3893
立命館大学宮城県校友会	下村 泰雄	984－0831 仙台市若林区沖野4－5－20 柏原 晋 様	022－286－9928
立命館大学秋田県校友会	今野 謙	010－1436 秋田市大住2－4－19 今野 謙 様	018－831－1250
立命館大学山形県校友会	三浦 孝治	990－2324 山形市青田南8－2 三浦孝治 様	023－624－0864
立命館大学福島県校友会	桑原 勇健	963－8877 郡山市堂前町3－33 馬場幸蔵 様	024－922－4964
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	310－0903 水戸市堀町2247－8 木村幸夫 様	029－252－8401
立命館大学栃木県校友会	笠原 朋雄	329－1104 宇都宮市下岡本町3792－4 笠原朋雄 様	028－673－1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	370－3521 高崎市棟高町1802－409 石橋 博 様	027－372－8422
立命館大学埼玉県校友会	常田 幸正	104－0041 東京都中央区新富1－16－8 エクセルアート (株) 内 榎本哲郎 様	03－3552－2201
立命館大学千葉県校友会	原 宏亮	276－0031 八千代市八千代台北15－19－28 原 宏亮 様	047－485－8998
立命館大学東京校友会	住野 公一	100－0005 千代田区丸の内1－7－12サピアタワー 8階 立命館東京キャンパス	03－5224－8188
立命館大学神奈川県校友会	野口 邦夫	230－0071 横浜市鶴見区駒岡1－10－E－304 社労士のぐちくにを事務所 野口邦夫 様	080－6721－0071
立命館大学新潟県校友会	小野 守通	950－0982 新潟市中央区堀之内南2－15－1 小畑正敏 様	025－247－2478
立命館大学富山県校友会	田村 哲朗	939－8212 富山市掛尾町198 福田 豊 様	076－425－3192
立命館大学石川県校友会	加納 裕	921－8103 金沢市つつじが丘107 木場密雄 様	076－243－5806
立命館大学福井県校友会	品谷 義雄	910－8510 福井市光陽2丁目3－22 福井県社会福祉協議会 専務理事 品谷義雄 様	0776－24－2339
立命館大学山梨県校友会	佐野 宣以	400－0065 甲府市貢川2－5－33 久保田忠行 様	055－227－5136
立命館大学長野県校友会	大槻 四郎	390－0822 松本市神田1－28－2 降幡信秀 様	0263－25－0279
立命館大学岐阜県校友会	鷺見 泰裕	503－0807 大垣市今宿4－32－1 (株) 大垣麺房内 房野麻紀子 様	0584－74－3036
立命館大学静岡県校友会	大石 育三	420－0882 静岡市葵区安東2丁目8－5 佐藤友清 様	054－245－5612
立命館大学愛知県校友会	林 幸雄	461－0004 名古屋市中区葵3－15－31住友生命千種ニュータワービル14F (株)電広エイジェンシー 加藤智大 様	(FAX) 052－937－1250
立命館大学三重県校友会	中山 一幸	516－0012 伊勢市通町448－1 (有) 勝原産業 勝原誠一 様	0596－25－9209
立命館大学滋賀県校友会	辻 淳夫	520－8686 大津市浜町1－38 (株) 滋賀銀行システム部 高津知仁 様	077－521－2440
立命館大学京都校友会	布垣 豊	604－8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学 校友・父母課	075－813－8216
立命館大学大阪校友会	佐藤友美子	530－0018 大阪市北区小松原町2－4大阪富国生命ビル5階 立命館大阪梅田キャンパス	06－6360－4895
立命館大学兵庫県校友会	水田 宗人	658－0016 神戸市東灘区本山中町4丁目10番5号 伊藤四朗 様	078－451－7751
立命館大学奈良県校友会	鮎井 憲	633－0053 桜井市大字谷125－13 土田次郎 様	0744－43－5043
立命館大学和歌山県校友会	村上 長保	640－8222 和歌山市湊本町1－10－1－405 和田好史 様	0734－32－7039

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学鳥取県東部校友会	本多 達郎	680－0874 鳥取市叶122 西垣ビル (株) アド・ネットワーク内 西垣佳則 様	0857－30－0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683－0037 米子市昭和町25－1 サンイン技術コンサルタント (株) 内 大野木昭夫 様	0859－32－3308
立命館大学島根県校友会	石倉 徳章	690－0851 松江市堂形町737－6 田中安信 様	0852－27－2903
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	700－0903 岡山市北区幸町7－14 天水 幸町店 守屋博司 様	086－232－0945
立命館大学広島県校友会	松浦 洋二	731－5115 広島市佐伯区八幡東2丁目28－27 田中龍次 様	082－928－0132
立命館大学広島県東部校友会	小田 正己	720－0808 福山市昭和町6－1 福山電業 (株) 島田 斉 様	084－922－6361
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	753－0043 山口市宮島町7－21 中村史朗 様	083－924－0283
立命館大学宇部小野田校友会	江本 郁夫	755－0047 宇部市島1－4－55 宇部市教育委員会学校安心支援室 森島正信 様	0836－29－4725
立命館大学徳島県校友会	鎌田 啓三	770－0874 徳島市南沖洲2－7－33 鎌田啓三 様	088－664－2344
立命館大学香川県校友会	松浦 康隆	760－0071 高松市藤塚町2－12－15－404 穴吹 学 様	087－862－3565
立命館大学愛媛県校友会	岡本 正志	791－8022 松山市美沢1丁目1番19号 石田二郎 様	089－925－2547
立命館大学高知県校友会	森山 泰宏	781－2110 吾川郡いの町4016－1 平井雅章 様	088－893－3410
立命館大学福岡県校友会	清家 邦敏	816－0092 福岡市博多区東那珂3－6－62 大成印刷 (株) 代表取締役社長 清家邦敏 様	092－472－2621
立命館大学北九州校友会	藤田 卓也	804－0025 北九州市戸畑区福柳木2－3－11 初村雅敬 様	093－882－9240
立命館大学佐賀県校友会	白武 悟	842－0014 神崎市神崎町姉川12215 伊香賀俊介 様	0952－53－4243
立命館大学長崎県校友会	横山 正人	850－0037 長崎市金屋町4－5 (株) 長崎ガードシステム内 山口孝司 様	095－825－3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	860－0012 熊本市中央区紺屋今町9－6熊本紺屋今町ビル8階 (公) 地方経済総合研究所 飯田俊之 様	096－326－8625
立命館大学大分県校友会	岡崎 信行	870－0128 大分市森108－83 佐藤昌彦 様	097－521－5392
立命館大学宮崎県校友会	高橋 一身	880－0926 宮崎市月見ヶ丘5－1－1 フォンテ月見ヶ丘三番館202 南 英輝 様	0985－44－1975
立命館大学鹿児島県校友会	福元 寅典	890－0053 鹿児島市中央町16－9 川窪宏一 様	099－253－3336
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	900－0005 那覇市天久2－28－23－203 島袋 健 様	090－7587－0858

学部校友会			
衣笠キャンパス 603－8577 京都市北区等持院北町56－1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	赤木 文生	法学部事務室内	075－465－8175
立命館大学文学部校友会	中小路宗隆	文学部事務室内	075－465－8187
立命館大学産業社会学部校友会	古谷 寛	産業社会学部事務室内	075－465－8184
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務室内	075－465－1211
立命館大学政策科学部同窓会	新井 弘徳	政策科学部事務室内	075－465－7877
立命館大学映像学部同窓会	大矢 侑輝	映像学部事務室内	075－465－1990
びわこ・くさつキャンパス 525－8577 滋賀県草津市野路東1－1－1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学経済学部同窓会	住野 公一	経済学部事務室内	077－561－3940
立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務室内	077－561－3941
立命館大学数物会	河野 俊彦	理工学部数学物理学系事務室内	(FAX) 077－502－2466
立命化友会 (旧 立命館大学応化会)	北尾 舒彦	生命科学部・薬学部事務室内	077－561－2658
立命電友会	瀬見 英利	理工学部電子システム系事務室内	077－561－2662
立命館大学機友会	大内 章	理工学部機械システム系事務室内	077－561－2664
立命館大学建設会	中尾 恵昭	理工学部環境都市系事務室内	077－561－4911
立命館大学情報会	上嶋 明	情報理工学部事務室内	077－561－5295
立命館大学スポーツ健康科学部・同研究科同窓会	田畑 泉	スポーツ健康科学部事務室内	077－561－3760

海外校友会				
(順不同)				
立命館大学北カリフォルニア校友会 立命館大学ロスアンジェルス校友会 立命館テキサス会 立命館大学シカゴ校友会 立命館ニューヨーク校友会	立命館大学バンクーバー校友会 立命館大学英国校友会 立命館大学ドイツ校友会 立命館大学インド校友会 立命館大学インドネシア校友会	立命館サイゴン校友会 立命館大学ハノイ校友会 立命館大学タイ王国校友会 立命館大学シンガポール校友会 立命館大学マレーシア校友会	在韓立命館大学同門会 立命館大学台湾校友会 立命館大学香港校友会 立命館大学北京校友会 立命館大学上海校友会	立命館大学広州校友会 立命館大学モンゴル校友会 立命館大学シドニー校友会

立命館はご卒業後もあなたのそばに

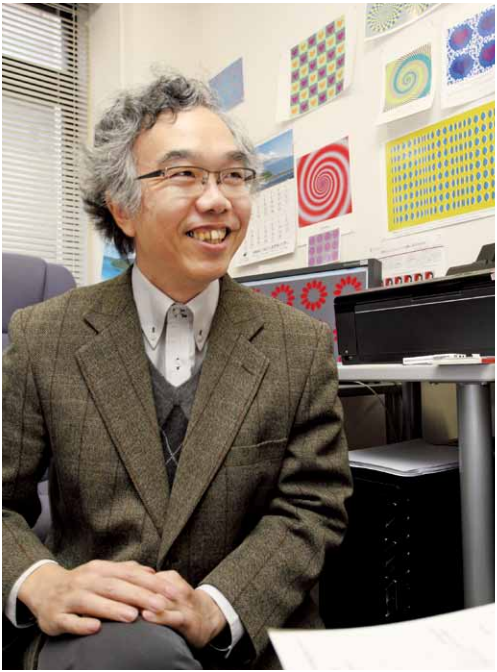
各種証明書の発行や施設利用、生涯学習支援についてご案内いたします。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
各種証明書の申し込みについて	◆法学部事務室 (法学部／法学研究科)	TEL.075－465－8175
	◆文学部事務室 (文学部／文学研究科)	TEL.075－465－8187
	◆産業社会学部事務室 (産業社会学部／社会学研究科)	TEL.075－465－8184
	◆国際関係学部事務室 (国際関係学部／国際関係研究科)	TEL.075－465－1211
	◆政策科学部事務室 (政策科学部／政策科学研究科)	TEL.075－465－7877
	◆映像学部事務室 (映像学部／映像研究科)	TEL.075－465－1990
	◆独立研究科事務室 (応用人間科学研究科)	TEL.075－465－8375
	(先端総合学術研究科)	TEL.075－465－8348
	(言語教育情報研究科)	TEL.075－465－8363
	◆経済学部事務室 (経済学部／経済学研究科)	TEL.077－561－3940
	◆経営学部事務室 (経営学部／経営学研究科)	TEL.077－561－3941
	◆スポーツ健康科学部事務室 (スポーツ健康科学部／スポーツ健康科学研究科)	TEL.077－561－3760
	◆理工学部事務室 (理工学部／理工学研究科)	TEL.077－561－2625
	◆情報理工学部事務室 (情報理工学部／情報理工学研究科)	TEL.077－561－5202
	◆生命科学部・薬学部事務室 (生命科学部／生命科学研究科・薬学部／薬学研究科)	TEL.077－561－5021
	◆BKC大学院課 (MOT研究科事務室含む) (テクノロジー・マネジメント研究科)	TEL.077－561－3421 (MOT)
図書館の利用	◆プロフェッショナルスクール事務室 (法務研究科)	TEL.075－813－8270
	(経営管理研究科)	TEL.075－813－8273
	(公務研究科)	TEL.075－813－8274
図書館の利用	◆衣笠図書館	TEL.075－465－8217
	◆メディアセンター (BKC)	TEL.077－561－2634
	◆メディアライブラリー (BKC)	TEL.077－561－3943
	◆朱雀リサーチライブラリー www.ritsumei.ac.jp/library/	TEL.075－813－8257
キャンパスの利用	◆立命館東京キャンパス 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階 TEL.03－5224－8188 http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/index_j.html	東京キャンパスは、企業の本社が集まる丸の内のJR東京駅日本橋口出口に直結するサピアタワー8階にあります。東京キャンパスでは、首都圏における本学学生の就職活動の支援や校友会活動の支援などを行っています。また校友に限らず社会人を対象にした公開講座も開講しています。詳しくはHPをご覧ください。 ※来訪には入館手続きが必要となりますので、お越しの際には事前にご連絡ください。 ※校友への各種証明書発行はしていません。
キャンパスの利用	◆立命館大阪梅田キャンパス 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル (14階 大阪オフィス) TEL.06－6360－4895 (14階 就職活動関係) TEL.06－6360－4893 (5階 社会人大学院関係) TEL.06－6360－4892 http://www.ritsumei.jp/osaka_office/index_j.html	大阪梅田キャンパスは、社会人大学院 (MBA、MOT、言語教育情報研究科)、一般公開講座を開講し、学生の就職活動支援や国際学術交流 (立命館孔子学院大阪学堂および同済大学教員研究室を付設) などの事業を行っています。さらに、立命館大学大阪校友会・父母教育後援会の皆様への対応、入試情報の提供なども行なっています。 ※校友への各種証明書発行はしていません。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
会館の利用	◆末川記念会館 TEL.075－465－8234 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/suekawa/	末川博名誉総長の生前の書斎を模したメモリアルルーム、京都地方裁判所から移設した貴重な陪審法廷、故白川静名誉教授の研究成果を広く公開している「白川静記念東洋文字文化研究所」、ホール、会議室 (事前申込要)、レストランなどがあり、立命館土曜講座も行なっています。研究会や会議にご利用ください。
大学院への進学	◆研究科の事務室 [TEL. P.20参照] または ◆衣笠大学院課 TEL.075－465－8195 http://www.ritsumei.jp/gr/index_j.html	立命館大学大学院では、各研究科において積極的に社会人を受け入れ、多様な入試方式を用意しております。また、大学院の科目等履修生・聴講生制度もあります。入試説明会や模擬講義等も開催しておりますので、大学院への進学に興味のある方は、進学を希望する研究科の事務室までお問い合わせください。
エクステンションセンターの利用	◆エクステンションセンター [衣 笠] TEL.075－465－8172 [BKC] TEL.077－561－3942 [朱 雀] TEL.075－813－8285 http://www.ritsumei.jp/extention/index_j.html	エクステンションセンターでは、進路に直結する国家資格をはじめ、専門職・キャリアアップのための講座や、学科の特色を活かした多彩な講座を開講しています。立命館大学、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、立命館アジア太平洋大学大学院のいずれかを卒業、または修了している方は「エクステンションセンター校友特別受講制度」が適用されます。 【エクステンションセンター校友特別受講制度】 ●制度内容 立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度です。 ●対象講座 司法試験、公認会計士、公務員、弁理士、税理士、司法書士、日商簿記1級を目指す試験対策講座。講座内容については事前にご確認ください。 ●利用方法 エクステンションセンター窓口へお申し込みください。申込書はホームページからダウンロードできます。 ●提携専門機関 辰巳法律研究所 http://www.tatsumi.co.jp/ 大原学園 http://www.o-hara.ac.jp/ TAC http://www.tac-school.co.jp/
校友サロンの利用	[衣 笠キャンパス] 国際平和ミュージアムロビー (1階および2階) ◆教育文化事業課 (国際平和ミュージアム1階) http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/	●火～日曜日 9:30～16:30 (休館：月曜日、祝日の場合は翌日。夏期および年末年始の休館期間ほか) ●2階ロビーに飲み物の自販機設置 (1階ロビーでの飲食はご遠慮ください) ●国際平和ミュージアム常設展示等を無料でご覧いただけます。 ご希望の方は1階教育文化事業課窓口にお申し出ください。 無料見学は、校友ご本人と同伴の若干名に限らせていただきます。
	[びわこ・くさつキャンパス (BKC)] コアステーション3階ラウンジ ◆コアステーション1階BKCキャンパス事務課	●月～土曜日 9:00～20:00 (休室：日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●コーヒー等の自販機設置 ●ご用の際は、コアステーション1階BKCキャンパス事務課へお越しください。 (執務時間：月～金曜日 9:00～17:30) ※利用予約も可能です (ただし、現地での予約受付に限ります)。
	[朱 雀キャンパス] 6階校友ロビー ◆校友会事務局 (朱雀キャンパス6階)	●月～金曜日 9:00～17:30 (休室：土・日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●1階学園本部エリア受付にお申し出の上、6階校友会事務局にお声かけください。 ●コーヒー等の自販機設置。
	○いずれも事前申し込みは不要です。時間外の対応は致しかねますのでご了承ください。 ○衣笠およびBKCの校友サロンは、一般の方や教職員との共用スペースです。校友専用ではないことを何卒ご理解ください。 ○各サロンとも、校友団体の総会等、大勢でのご利用には適しません (おおむね1グループ10名以内でのご利用を想定しております)。 ○夏期および年末年始の休室期間のお問い合わせ、キャンパスマップのご請求等、詳細は校友会事務局へご連絡ください。 ○アクセスマップ http://www.ritsumei.jp/accessmap/index_j.html 立命館大学校友会事務局 (校友・父母課) http://alumni.ritsumei.jp/ TEL.075－813－8216 E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp	

大 学 の 業 務 日 時	
通常の業務日時	月～金曜日 9時～17時30分
通常の休業日	土・日曜日、祝日、夏期・年末・年始休暇 ※図書館、国際平和ミュージアム等の休館日は別途定めます。

住 所 等 の 変 更 ご 連 絡 先
立命館大学校友会事務局 (校友・父母課) TEL.075－813－8216 FAX.075－813－8217 【住所変更専用フリーダイヤル】 TEL.0120－252－094 FAX.0120－252－095 【校友会ホームページからも変更可能です】 https://alumni-ritsumei.jp/form/change.html



Akiyoshi KITAOKA

PROFILE

1991年	筑波大学大学院博士課程心理学研究科 修了 教育学博士
1991~2001年	財団法人東京都神経科学総合研究所(現・公益財 団法人 東京都医学総合研究所)に主事研究員とし て勤務
2001年	立命館大学文学部助教授
2006年	同 教授(現職)

専門は知覚心理学。特に、錯視の実験心理学的研究と、錯視デザインの創作を得意とする。

2006年第9回ロレアル「色の科学と芸術賞」金賞受賞、2007年日本認知心理学会「第3回独創賞」受賞。

著書に、「トリック・アイズ」シリーズ(2002～2013年、カンゼン)、「現代を読み解く心理学」(2005年、丸善)、「だまされる視覚錯視の楽しみ方」(2007年、化学同人)、「錯視入門」(2010年、朝倉書店)など。

2009年より、錯視コンテストの審査委員長を務める。

楽しいだけじゃない！ 錯視が秘めた可能性を追究する

文学部 **北岡明佳** 教授

錯視とは、同じ長さの線分が違う長さに見えたり、平行線が歪んで見えるといった現象のこと。どういう条件の下でこうした現象が起きるのか、その時、網膜や脳、知覚の経路の中でどこが主要になっているのか。形の錯視(幾何学的錯視)、運動視の錯視、色の錯視など、様々な錯視を対象に、文学部の北岡明佳教授は心理学的視点から研究を進めている。

世界観と深く関わる錯視

昼間と夕方では太陽光の組成が違うが、人間の目には顔色は変わらないように見える。カメラはその時の照明の下で露出などの調整が必要だが、人間はどこで見てもほぼ同じ水準の中でのものを見ることができる。蛍光灯の色は物理的にはグリーンだが、人間はそれを補正して白と見る。人間の目はフィルターの色味や照明の色味などを打ち消して、本来の色と思われるものを知覚できる。こうした現象を「色の恒常性」という。この場合、物理的な刺激とは異なるものを知覚するわけであるから、色の錯視であるとも言える(図1には、色の恒常性を表現していると考えられる色の錯視図形を示した)。

ものを見る時、私たち人間は特定の文脈、ストーリーを作って見ている。「錯視を定義すれば、何か『正しい』という信念からずれているかどうか。先入観や世界観といったものが関わっていて、『正しい』知覚からずれているものを錯視と呼んでいます」。したがって、たとえば「動かない」という先入観のある静止画が動いて見えるのは、錯視と呼ぶことができる。

心理学の領域を越えて

錯視は私たちの日常生活の中にもしばしば潜んでいる。たとえば、身近なところでは「化粧」。アイシャドウは、暗い色を付けた部分と反対側に視線の方向がシフトしたように見える効果があると北岡教授は言う。アイシャドウを上まぶたにつけると視線が下方向に見え、しとやかな印象を演出できる。逆に、下まぶたにアイシャドウを付けると視線が上がって見え、活発な印象に変わる。

北岡教授がいま最も力を入れているのは「運動視の錯視」の研究だ。新作『ハートの環の回転』は、研究から生まれた作品の一つ(図2)。この作品の重要な点は、背景が灰色ということにある。これまで、「赤×青」など長波長と短波長の色を組み合わせた時に錯視の動きは強くなると考えられていた。しかし実験を

通して、長・短の組み合わせではない赤とグレーの組み合わせの時に動きが最大になるという結果が得られた。

この錯視は明るいところで見える場合と暗いところで見える場合で動きの方向が逆転する。眼の網膜の視細胞には、明るい場所で働く錐体(すいたい)と、暗い場所で働く桿体(かんたい)がある。通常、色を感じるとされているのは錐体だが、弱い光を感じる桿体もある。逆錯視はこの桿体が働く時に起こるため、この作品の錯視には桿体の関与が認められるが、桿体は色の知覚に関係することはない。したがって色の知覚そのものではなく、波長の違いによって何らかの運動信号が出ていることになる。

「運動視と色覚は別の経路で、相互作用は少ないというのが一般常識でした。けれどこの研究によって、『両者はあまり関係ない』では済まされないという話になってきている。画期的だと思います。現在は知覚心理学の観点で研究を進めています。網膜生理など分野をまたいだ新しい研究も期待できます」。

作品数は5,000点以上

もともと動物心理学を研究していた北岡教授は、動物の心理現象を研究するために錯視作品を制作するようになったという。これまでに手がけた作品は5,000作にも上る。「錯視の魅力はなんと言ってもおもしろいところ。深く知らなくても、見たままに、誰もが楽しめる」。絵が浮き上がって見えたり、波のようにゆらめいて見えたり、あっと驚くようなおもしろさもさることながら、錯視作品の多くはテキスタイルデザインのような芸術性も感じさせる。「私はあくまで錯視屋さん。でも錯視は磨けば磨くほど芸術になる」。

生活環境に溶け込んでしまっ、て、私たちが錯視とは気付いていないものも数々あるにちがいない。錯視がなければ、暮らしはきっと今よりずっと面白みに欠けていただろう。「私が死んだ後も新しい錯視がまだまだ見つかると思います。でも欲を言うと、生きている間に全部発見してみせたい。こんなにおもしろい錯視、後進に楽しみは残さないぞ！(笑)」

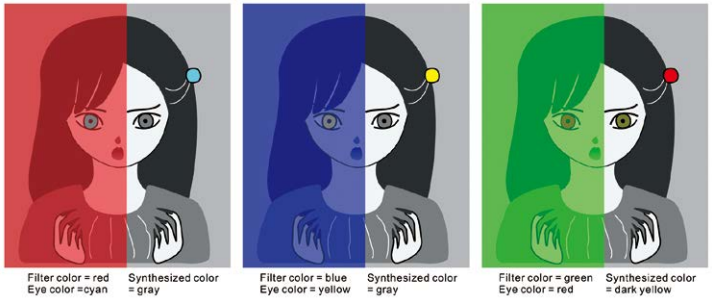


図1
それぞれの図で、女の子の目は左右異なる色に見えるが、どの図においても物理的には両目とも同じ灰色。

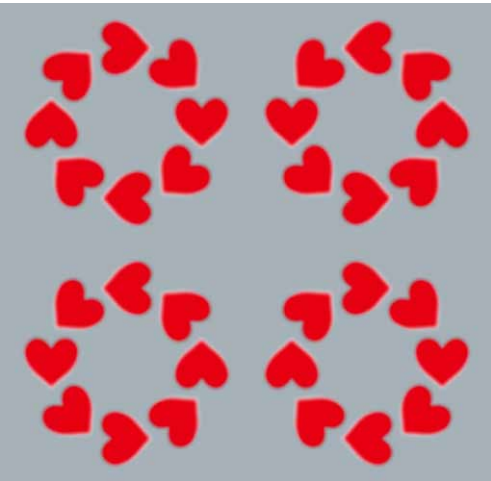


図2
明るいところでは、左上と右下のハートのリングは反時計回りに、右上と左下のハートのリングは時計回りに回転して見える。

北岡教授の錯視作品が、レディー・ガガのアルバム盤面に!

北岡教授が制作した錯視作品が、昨年11月にリリースされたアメリカのミュージシャン、アーティストのレディー・ガガさんの新アルバム「アートポップ」の盤面およびディスクトレイに採用された。採用された作品は『ガンガゼ』。ウニを意味するその名の通り、トゲのような模様が放射状に動いて見える。採用の発端は、ガガさん側からの使用依頼から。アルバムアートワークを担当するジェフ・クーンズさんの事務所から依頼を受けた時、北岡教授はガガさんのことをよく知らなかったという。「ゼミで話すと、学生たちには『知らないの?!』ってびっくりされました(笑)。世界で圧倒的な影響力を持つガガさんのおかげで、錯視に興味を持つ方が大幅に増えるのではと嬉しく思っています」。



「オール立命館校友大会2014in岡山」10月25日(土)に開催!

- アカデミック企画 (岡山シンフォニーホール)
- 総会・懇親会 (ホテルグランヴィア岡山)
中・四国の郷土芸能を堪能し、名産品をお楽しみください。
- 若手・女性企画 (ホテルグランヴィア岡山)
- 中・四 (なかよし) 広場企画 (JＲ岡山駅前広場)
中・四国の魅力を発信するパフォーマンスステージや各種ブースも設置予定。

※ 内容は現在の予定であり、変更となる可能性がございます。



■ 昨年の校友大会の様子

今年の校友大会は、校友会の歴史上初めて、中・四国ブロックの9県12校友会を中心とした実行委員会により、岡山県にて開催されます! 過去最大規模となる40名を超える実行委員会では、約2年前から準備が進められてきています。大会の詳細につい

ての情報は、次号257号(6月下旬発行)および258号(9月下旬発行)、立命館大学校友会ホームページ特設サイト(7月頃に公開予定)にて順次お知らせ致しますので、ご期待ください! みなさん、今年は岡山でお会いしましょう!

産業社会学部創設50周年記念事業プレ企画 是枝裕和監督作品「そして父になる」ティーチン上映会を開催します!!

産業社会学部は2015年度に創設50周年を迎えます。そのプレ企画として、カンヌ国際映画祭での審査員賞受賞も記憶に新しい、是枝裕和監督(産業社会学部客員教授)の「そして父になる」の上映会ならびにティーチンを開催します。福山雅治さんを主演に迎え、父親の苦悩や葛藤を描いた感動作—監督はもちろんのこと、本作出演者も登場予定です! 詳しい情報は、ホームページで順次お知らせします。

すべての校友対象ですので、皆さまお誘い合わせの上、ぜひお越しください!

日時 2014年4月19日(土) 13:00 ~ 16:30

会場 衣笠キャンパス 以学館1号ホール

内容 「そして父になる」の上映ならびにティーチン

是枝裕和監督×「そして父になる」出演者/ゲスト(予定)

※入場無料

申し込み方法などの詳細は、ホームページでご確認ください。

ホームページ <http://www.ritsumeai.ac.jp/ss/ss50th/> もしくは、

立命館大学 産業社会学部

検索

企画協力: フジテレビジョン、アミューズソフト



© 2013「そして父になる」製作委員会

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先	
第8回立命寄席	4/12(土) 18:30	天満天神繁昌亭	校友会事務局	075(813)8216
奈良県北部校友会総会	4/19(土) 11:00	ホテル日航奈良	寺田 惇	090(5971)9752
福岡県校友会筑後会総会	4/26(土) 18:30	久留米ホテルエスプリ	久間 康弘	090(8396)1498
ウリ同窓会総会	6/7(土) 16:00	ホテルグランヴィア京都	申 俊雨	(職)06(6352)1166
奈良県校友会総会	6/14(土) 14:00	奈良県新公会堂	土田 次郎	0744(43)5043
愛知県校友会東三河支部総会	6/21(土) 18:00	ウェステージ豊橋	青木 清美	090(8150)8389
佐賀県校友会総会	6/28(土) 18:00	ホテルニューオータニ佐賀	伊香賀俊介	0952(53)4243
滋賀県校友会総会	6/28(土)	大津プリンスホテル	高津 知仁	077(521)2440
香川県校友会総会	6/28(土)	ホテルパールガーデン	穴吹 学	087(862)3565
山形県校友会総会	6/29(日) 12:00	ホテルキャッスル	三浦 孝治	023(624)0864
三重県校友会総会	6月中旬で調整中		勝原 誠一	0596(25)9209
山梨県校友会総会	6月下旬で調整中		久保田忠行	055(227)5136
大阪校友会年次大会	7/4(金) 18:30	スイスホテル南海大阪	立命館大阪梅田キャンパス	06(6360)4895

2014年、 立命館大学びわこ・くさつキャンパスは 開設20周年を迎えます。

びわこ・くさつキャンパスは
たくさんの人のあふれる想いのもと、1994年に誕生しました。

あれから20年。
ここでかけがえのない時間を過ごした人たちの、挑戦、失敗、苦悩、
そして歓喜のストーリーによって、このキャンパスは育まれ、
2014年、二十歳の成人になろうとしています。

これからもたくさんのストーリーと力強く歩んでいく決意を胸に、
「ともに、未来を生み出す場所になる」ことを誓います。

BKC THANKS DAY

BKCサンクスデーを開催します

〔日にち〕 2014年6月1日（日）

〔場 所〕 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

詳細については大学ホームページ特設サイト
（4月に公開予定）にて順次お知らせします。



SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

女子陸上競技部

初開催の2013富士山女子駅伝（全日本女子選抜駅伝競走）で優勝

（12月23日 静岡県富士市、富士宮市）

初の開催となる「2013 富士山女子駅伝（全日本女子選抜駅伝競走）」において、女子陸上競技部が優勝を果たし、初代女王に輝きました。レースは1区の菅野七虹さん（経営1）が首位に立ち、2区の池内彩乃さん（経営1）も首位でタスキをつなぐと、3区の園田聖子さん（経済1）が区間賞の走りで後続を突き放しました。4区の津田真衣さん（経営3）も力強い走りで首位を明け渡すことなく、5区の大森菜月さん（スポ健1）、6区の三井綾子さん（スポ健4）、最終7区の敷下明音さん（経営4）も区間賞を獲得する走りで、2時間21分48秒のタイムでゴールテープを切りました。本大会の優勝により、同部は、2013年の大学女子駅伝2大会において2冠を達成しました。



第32回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に女子陸上競技部学生9名が出場

（1月12日 京都市）

第32回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に立命館大学の学生が出場しました。女子陸上競技部からは、2013 富士山女子駅伝（全日本女子選抜駅伝競走）の優勝に貢献した三井綾子さん（スポ健4）や菅野七虹さん（経営1）をはじめ9名がエントリーし、各チームの躍進に貢献する活躍を見せました。また、立命館宇治高等学校女子陸上競技部からも4名がエントリーしました。京都の5区を走った関紅葉さん（立命館宇治高等学校2年生）は区間賞を獲得し、チームの優勝に貢献しました。

Windward

2013年度全日本学生ボードセーリング選手権大学対抗戦で準優勝

（12月22～24日 和歌山セーリングセンター）



2013年度全日本学生ボードセーリング選手権大学対抗戦において、Windwardが準優勝を果たしました。1日目3レース、2日目4レースを消化し、2位で迎えた最終日。逆転すべく、2レースに挑みましたが、安定した走りをみせた京都大学との差を詰めるには至らなかったものの、強豪を抑えて準優勝となりました。なお、2013年度の主要な個人タイトルを全て獲得してきた主将の板庇雄馬さん（スポ健3）は、今大会でも個人成績1位を獲得しました。



CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

ダブルダッチ Fusion of Gambit

世界大会Double Dutch Holiday Classic2013で準優勝

（12月8日 ニューヨーク・アポロシアター）



ダブルダッチの世界大会「Double Dutch Holiday Classic2013」において、国内大会で優勝したダブルダッチサークル「Fusion of Gambit」の「M.A.D」が準優勝を果たしました。昨年と同サークル「戎」の優勝の成績には及ばなかったものの、一昨年の2位、3位に続く好成績となりました。

珠算部

全国珠算競技大会 そろばんクリスマスカップ2013高校・一般の部（部門別）団体総合競技で2年連続4回目の優勝

（12月22日 さいたま市文化センター）

全国珠算競技大会 そろばんクリスマスカップ2013 高校・一般の部（部門別）団体総合競技において、珠算部が2年連続4回目の優勝を果たしました。個人でも、日本一決定戦



（無差別）フラッシュ暗算競技で河野翔太さん（経営4）が優勝しました。また、2月9～19日にかけて、河野さんをはじめとした珠算部の部員3名が十分な教育を受けられないインドの子どもたちにそろばん指導を行なうなど、競技以外でも活動の幅を広げています。

バトントワリング部

第41回バトントワリング全国大会一般部門オープンでグランプリ・内閣総理大臣賞および手具編成別最優秀賞を受賞

（12月8日 幕張メッセイベントホール）

第41回バトントワリング全国大会にて、一般部門オープンに出場したバトントワリング部がグランプリ・内閣総理大臣賞および手具編成別最優秀賞を受賞しました。グランプリの受賞は2年連続となります。シルク・ドゥ・ソレイユの「Viva Elvis」の曲に合わせ、60年代調の衣装に身を包んだ16人のメンバーが華麗な演技を披露。「ロンダートバク宙」や「バタフライ」（3人同時に手を使わずに側転をする）といった大技が決まると、ロック系の曲調も相まって場内は歓声で沸きかえりました。世界大会でも好成績を残しているバトントワリング部。3月21～23日に開催される全日本バトントワリング選手権大会での活躍も期待されます。



CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

ピア・サポーターとして活動する学生が学生同士の学び合いについて考える「Assembly for Peer Supporters」を開催

（12月12日 衣笠キャンパス）

ピア・サポーターとして活動する学生たちが学生同士の学び合いについて考える

「Assembly for Peer Supporters」（主催：教育開発推進機構）を開催しました。本企画は、「仲間の支援を通じて自身の学びと成長を深化させる」という共通の目的を持つピア・サポーターたちが、団体の枠を超えて、ピア・サポーター同士、関連する教職員とのつながりを構築し、活動のさらなる高度化・活性化を目的に開催されました。当日は、各団体から計15名の学生が代表で集まり、本学のピア・サポート活動の現状と課題の共有、ピア・サポーターの成長を支える仕組み等について考える企画を開催。今後の展望として、今回の企画をきっかけに各団体間の専門性を活かした連携と役割分担を行なうことで、より質の高い活動へつながるのではないかと提言も行なわれました。



学生団体・びわこ部が地元酒造メーカーとタッグを組んで新商品を企画

（1月10、16、17日 フェリエ南草津）

学生有志団体「びわこ部」による白ワイン「MARUMI（まるみ）」の試飲会＆販売会を開催しました。今回、大田酒造株式会社から、大学生を対象に販路を拡大したいという相談を受け、「若者に親しまれる新しいお酒」の企画を行なうことになりました。学生たちは既に製品として販売されている浅柄野ワイン（白）を、若者が手に取りやすいように、



再プロデュース。商品企画にあたって、まろやかですっきりとした飲み心地や、親しみやすさを強調するために、ターゲットである大学生の嗜好や目線を取り入れようと、ネーミングやパッケージラベルを学生から公募。また、ハーフボトルにすることで価格を抑えるなど、学生でも手に取りやすいような工夫をしました。今回の試験販売を踏まえて改善を行ない、4月からの正式販売を目指します。

経営学部有志学生が宮城県女川高校の生徒が開発した復興支援クッキー「女川AGAIN（あがいん）ボウル」をびわこ・くさつキャンパスで販売

（1月27～31日 びわこ・くさつキャンパス）



黒木正樹・経営学部教授のゼミの有志学生8名が宮城県女川高校と宮城県石巻市の大沼製菓が開発した復興支援クッキー「女川AGAIN（あがいん）ボウル」を販売しました。「AGAIN（あがいん）」には英語の「再び」の意味と、方言の「食べて」の意味があります。女川高校は、2013年度をもって閉校になることが決まっており、これまで復興を支えてくれた方や地元の方への感謝と、閉校後も商品を通じて交流を続けたいという高校生たちの気持ちが込められています。販売を行なった学生たちは、黒木教授を通じて女川高校の高校生たちの活動を知り、メンバーの2名が実際に同校を訪問。「閉校になると販売が難しくなるので、販路を広げたい」という高校生の思いに共感し、立命館大学でもクッキーを販売したいと高校側に申し入れ、実現しました。クッキーは、1日約150個が売れる人気となりました。売り上げの一部は東日本大震災復興支援のために寄付されます。

学生サンタが心温まるクリスマス 大船渡に届ける 岩手県大船渡市でボランティアバス 企画を実施

立命館災害復興支援室は、12月20日(金)から25日(水)にかけて、東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市で活動するボランティアバス企画(後方支援スタッフ派遣プロジェクト第22便)を実施しました(学生13名、教職員1名が参加)。学生たちは、大船渡市で同日に開催されたイベントに参加し、一般のボランティアの方々とともに、サンタの衣装を着て市内の子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける活動や、コミュニティ再生のために設置された拠点、子ども会、保育園で実施されたクリスマスパーティーのサポート役、子どもの見守り役を担当するなどの活動を行ないました。



福島県と連携協力に関する協定を締結、「ふくしまとはじめよう。京都・立命館」を開催

12月20日(金)、学校法人立命館は、福島県と相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に連携協力に関する協定を締結しました。2013年8月に、福島県の内堀雅雄・副知事が立命館を訪問し、福島での支援活動に取り組む研究員や学生との間で活発な意見交換を行ないました。これ



をきっかけに、立命館の学生、研究者たちの福島に対する想いがますます強まり、関西・京都の地

から、国内外に向けた福島の現状や復興に関する正確な情報発信および復興に向けた教育・研究分野での連携を強めるため、連携協力協定を締結することとなりました。当日は、協定締結を記念して、「ふくしまとはじめよう。京都・立命館」をテーマに衣笠キャンパスにおいて、内堀副知事に加え、川口清史・立命館総長、学生、教職員、福島テレビの浜中順子アナウンサーらも参加。パネルディスカッションや、学生の福島県での活動報告等、さまざまな企画を実施しました。



7カ国・地域の留学生在福島県を訪問

2月6日(木)、7日(金)にかけて、立命館大学に通う留学生8名が、福島県を訪れ、復興の姿、土地の魅力に触れるスタディツアーを実施しました。このツアーは、12月20日(金)に本学で開催した福島県との交流企画において、福島県の内堀副知事と、本学の留学生7名が「福島県の魅力を海外に発信していくためにはどうしたらいいか」というテーマで対談を行ない、原発事故や復興の取り組みについて、留学生たちからの多くの質問や「自分の目で福島を見てみたい」という意見が出たことから実現。2日間のツアーでは、福島県の抱える課題や今後の可能性について理解を深めることを目的に、福島洋上風力交流センターの見学、農産物の検査の現場見学、福島大学における学生交流、内堀副知事への表敬訪問などを実施しました。



「民間企業からの受託研究実施件数」で立命館大学が全国1位(文部科学省調査)

文部科学省は12月13日(金)、「平成24年度 大学等における産学連携等実施状況について」を発表し、「民間企業からの受託研究実施件数」において、立命館大学は全国1位(件数235件)となりました(平成23年度調査では全国2位/件数218件)。「大学等における産学連携等実施状況について」は、文部科学省が、産学連携等施策の企画・立案に反映させることを目的として、大学等における産学連携等の実施状況調査を毎年行なっているもので、国公立大学(短期大学含む)、国公立大学高等専門学校及び大学共同利用機関の1,085機関を対象に実施されました。

京都府と立命館大学との連携・協力に関する包括協定を締結

1月27日(月)、立命館大学は京都府と、産業振興等の分野において相互に協力し、人づくりや、地域貢献に共同して取り組み、大学を核とした交流を推進するため、連携・協力に関する包括協定を締結しました。本学は創設以来、地域に根ざしたキャンパスとして、戦後いち早く地域開放を目指して土曜講座を開設するなど、様々なレベルで府内における地域連携・地域貢献に取り組んできました。近年では、産業社会学部が「綾部市との里山プロジェクト」や「京北町との納豆プロジェクト」などを展開しています。今後は協定締結を機に、京都府と本学との交流をさらに積極的に進め、個々の連携・協力事業について推進、具体化していくことを目指します。



「第10回関西・関東10私大産学連携フォーラム(異分野融合と産学連携)ー産学連携の“これから”を企業・公的機関・大学それぞれの立場から発信するー」を開催

12月13日(金)、朱雀キャンパスにおいて、関西(関西大学・関西学院大学・同志社



大学・立命館大学)と関東(慶應義塾大学・中央大学・東京電機大学・日本大学・明治大学・早稲

田大学)の10私大主催による「第10回関西・関東10私大産学連携フォーラム(異分野融合と産学連携)」を開催しました。今回は、「異分野融合と産学連携」をテーマに、各大学のこれまでの成果や課題、取り組み事例を報告するとともに、私立大学に求めることなどについて企業、公的機関、大学のそれぞれの立場から意見を交換しました。

衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館建築工事安全祈願祭を実施

1月18日(土)、衣笠キャンパスにおいて、平井嘉一郎記念図書館建築工事安全祈願祭を実施しました。同図書館は、ニチコン株式会社の創業者故・平井嘉一郎様(立命館名誉館賓、'40法)のご遺志をくまれた、ご令室、名誉館賓・平井信子様によりご寄贈いただく記念図書館であり、2015年6月に竣工、同年10月供用開始を予定しています。「学びが見える、学びに触れる、学びあえる」をコンセプトとして、長時間滞在したくなる空間や快適さを備えていることを重視し、将来にわたって利用者に愛される長寿命型の図書館であることを目指していま



す。安全祈願祭は、平井信子様をはじめとする平井嘉一郎財団関係者、長田豊臣・立命館理事長や川口立命館総長をはじめとする学校関係者並びに設計事務所、施工会社など工事関係者が集い、安全祈願の神事を厳粛に執り行ないました。

大学の世界展開力強化事業キックオフ・カンファレンス「国際イノベータが結ぶ東南アジアと日本」を開催

1月18日(土)、立命館大学国際平和ミュージアム「中野記念ホール」において、「国際PBLによるイノベータ育成プログラム」(平成25年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」)のキックオフカンファレンス「国際イノベータが結ぶ東南アジアと日本」を開催しました。前原誠司元外務大臣・衆議院議員、



プラティクノ博士(インドネシア・ガジャマダ大学学長)、ニティナント・ウィサウェースアン博士(タイ・タマサート大学副学長)をゲストにお迎えし、ASEAN地域の現状、ポテンシャル、そして同地域の大学と連携した本教育プログラムの意義について、意見交換を行ないました。会場には政策科学部と国際関係学部の学生をはじめ、立ち見が発生するほど多くの参加者が駆けつけました。約4時間にわたる企画ながら、参加者は最後まで熱心に聴講し、興味関心の高さが伺えるものとなりました。

在英国日本国大使館・立命館大学共催による科学技術フォーラム“Science, Technology and Innovation Symposium”をイギリス・ロンドンにて開催

1月23日(木)、イギリス・ロンドンにおいて、在英国日本国大使館にて科学技術フォーラム“Science, Technology and Innovation Symposium”を開催しました。本シンポジウムは日英学術交流150周年を記念し、在英国日本大使館との共催にて企画



したもので日本では東京大学、京都大学に続き、私立大学としては初の取り組みとなりました。シンポジウムは3つのセッションから成っており最先端の研究活動を、英国の大学や企業の研究者と共に発信し新しい科学技術の創造に向けて日英の問題意識について意見交換することを目的に開催。本学からは、小西聡・理工学部教授、峯元高志・理工学部准教授、大窪健之・理工学部教授が出席し、それぞれの研究テーマについて紹介。各セッションには約120名の参加者が集まり活発な討議が行なわれました。

研究フォーラム「IITH-Ritsumeikan SCIENCE WORKSHOP」をインドで開催～日本の私立大学で初インド工科大学ハイデラバード校(IIT-H)との協力協定締結を記念

2月10日(月)、インド工科大学ハイデラバード校(Indian Institute of Technology Hyderabad: IIT-H)において、サイエンスフォーラム“IITH-RITSUMEIKAN SCIENCE WORKSHOP”を開催しました。本フォーラムは、立命館大学とIIT-Hとの間で学術研究交流の推進を目指した包括協定締結を記念し、JICAの支援のもと両大学が協力して企画・実施に至りました。なお、IIT-Hと日本の大学の大学間協定は東京大学、大阪大学に次いで3校目となり、私立大学では初となりました。フォーラムではインドと日本の社会が抱える共通の課題解決に向けた研究が発表され、堤治・生命科学部准教授、鮎山恵・理工学部教授、中島淳・理工学部教授がそれぞれの研究テーマについて紹介し、活発な質疑応答が行なわれました。



学生サンタが心温まるクリスマスで大船渡に届ける 岩手県大船渡市でボランティアバス企画を実施

立命館災害復興支援室は、12月20日(金)から25日(水)にかけて、東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市で活動するボランティアバス企画(後方支援スタッフ派遣プロジェクト第22便)を実施しました(学生13名、教職員1名が参加)。学生たちは、大船渡市で同日に開催されたイベントに参加し、一般のボランティアの方々とともに、サンタの衣装を着て市内の子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける活動や、コミュニティ再生のために設置された拠点、子ども会、保育園で実施されたクリスマスパーティーのサポート役、子どもの見守り役を担当するなどの活動を行ないました。



福島県と連携協力に関する協定を締結、「ふくしまとはじめよう。京都・立命館」を開催

12月20日(金)、学校法人立命館は、福島県と相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に連携協力に関する協定を締結しました。2013年8月に、福島県の内堀雅雄・副知事が立命館を訪問し、福島での支援活動に取り組む研究員や学生との間で活発な意見交換を行ないました。これ



をきっかけに、立命館の学生、研究者たちの福島に対する想いがますます強まり、関西・京都の地

から、国内外に向けた福島の実状や復興に関する正確な情報発信および復興に向けた教育・研究分野での連携を強めるため、連携協力協定を締結することとなりました。当日は、協定締結を記念して、「ふくしまとはじめよう。京都・立命館」をテーマに衣笠キャンパスにおいて、内堀副知事に加え、川口清史・立命館総長、学生、教職員、福島テレビの浜中順子アナウンサーらも参加。パネルディスカッションや、学生の福島県での活動報告等、さまざまな企画を実施しました。



7カ国・地域の留学生在福島県を訪問

2月6日(木)、7日(金)にかけて、立命館大学に通う留学生8名が、福島県を訪れ、復興の姿、土地の魅力に触れるスタディツアーを実施しました。このツアーは、12月20日(金)に本学で開催した福島県との交流企画において、福島県の内堀副知事と、本学の留学生7名が「福島の魅力在海外に発信していくためにはどうしたらいいか」というテーマで対談を行ない、原発事故や復興の取り組みについて、留学生たちからの多くの質問や「自分の目で福島を見てみたい」という意見が出たことから実現。2日間のツアーでは、福島県の抱える課題や今後の可能性について理解を深めることを目的に、福島洋上風力交流センターの見学、農産物の検査の現場見学、福島大学における学生交流、内堀副知事への表敬訪問などを実施しました。



「民間企業からの受託研究実施件数」で立命館大学が全国1位(文部科学省調査)

文部科学省は12月13日(金)、「平成24年度 大学等における産学連携等実施状況について」を発表し、「民間企業からの受託研究実施件数」において、立命館大学は全国1位(件数235件)となりました(平成23年度調査では全国2位/件数218件)。「大学等における産学連携等実施状況について」は、文部科学省が、産学連携等施策の企画・立案に反映させることを目的として、大学等における産学連携等の実施状況調査を毎年行なっているもので、国公立大学(短期大学含む)、国公立大学高等専門学校及び大学共同利用機関の1,085機関を対象に実施されました。

京都府と立命館大学との連携・協力に関する包括協定を締結

1月27日(月)、立命館大学は京都府と、産業振興等の分野において相互に協力し、人づくりや、地域貢献に共同して取り組み、大学を核とした交流を推進するため、連携・協力に関する包括協定を締結しました。本学は創設以来、地域に根ざしたキャンパスとして、戦後いち早く地域開放を目指して土曜講座を開設するなど、様々なレベルで府内における地域連携・地域貢献に取り組んできました。近年では、産業社会学部が「綾部市との里山プロジェクト」や「京北町との納豆プロジェクト」などを展開しています。今後は協定締結を機に、京都府と本学との交流をさらに積極的に進め、個々の連携・協力事業について推進、具体化していくことを目指します。



「第10回関西・関東10私大産学連携フォーラム(異分野融合と産学連携)ー産学連携の“これから”を企業・公的機関・大学それぞれの立場から発信するー」を開催

12月13日(金)、朱雀キャンパスにおいて、関西(関西大学・関西学院大学・同志社



大学・立命館大学)と関東(慶應義塾大学・中央大学・東京電機大学・日本大学・明治大学・早稲

田大学)の10私大主催による「第10回関西・関東10私大産学連携フォーラム(異分野融合と産学連携)」を開催しました。今回は、「異分野融合と産学連携」をテーマに、各大学のこれまでの成果や課題、取り組み事例を報告するとともに、私立大学に求めることなどについて企業、公的機関、大学のそれぞれの立場から意見を交換しました。

衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館建築工事安全祈願祭を実施

1月18日(土)、衣笠キャンパスにおいて、平井嘉一郎記念図書館建築工事安全祈願祭を実施しました。同図書館は、ニチコン株式会社の創業者故・平井嘉一郎様(立命館名誉館賓、'40法卒)のご遺志をくまれました、ご令室、名誉館賓・平井信子様によりご寄贈いただく記念図書館であり、2015年6月に竣工、同年10月供用開始を予定しています。「学びが見える、学びに触れる、学びあえる」をコンセプトとして、長時間滞在したくなる空間や快適さを備えていることを重視し、将来にわたって利用者に愛される長寿命型の図書館であることを目指してい



ます。安全祈願祭は、平井信子様をはじめとする平井嘉一郎財団関係者、長田豊臣・立命館理事長や川口立命館総長をはじめとする学校関係者並びに設計事務所、施工会社など工事関係者が集い、安全祈願の神事を厳粛に執り行ないました。

大学の世界展開力強化事業キックオフ・カンファレンス「国際イノベータが結ぶ東南アジアと日本」を開催

1月18日(土)、立命館大学国際平和ミュージアム「中野記念ホール」において、「国際PBLによるイノベータ育成プログラム」(平成25年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」)のキックオフカンファレンス「国際イノベータが結ぶ東南アジアと日本」を開催しました。前原誠司元外務大臣・衆議院議員、



プラティクノ博士(インドネシア・ガジャマダ大学学長)、ニティナント・ウィサウェースアン博士(タイ・タマサート大学副学長)をゲストにお迎えし、ASEAN地域の現状、ポテンシャル、そして同地域の大学と連携した本教育プログラムの意義について、意見交換を行ないました。会場には政策科学部と国際関係学部の学生をはじめ、立ち見が発生するほど多くの参加者が駆けつけました。約4時間にわたる企画ながら、参加者は最後まで熱心に聴講し、興味関心の高さが伺えるものとなりました。

在英国日本国大使館・立命館大学共催による科学技術フォーラム“Science, Technology and Innovation Symposium”をイギリス・ロンドンにて開催

1月23日(木)、イギリス・ロンドンにおいて、在英国日本国大使館にて科学技術フォーラム“Science, Technology and Innovation Symposium”を開催しました。本シンポジウムは日英学術交流150周年を記念し、在英国日本大使館との共催にて企画



したもので日本では東京大学、京都大学に続き、私立大学としては初の取り組みとなりました。シンポジウムは3つのセッションから成っており最先端の研究活動を、英国の大学や企業の研究者と共に発信し新しい科学技術の創造に向けて日英の問題意識について意見交換することを目的に開催。本学からは、小西聡・理工学部教授、峯元高志・理工学部准教授、大窪健之・理工学部教授が出席し、それぞれの研究テーマについて紹介。各セッションには約120名の参加者が集まり活発な討議が行なわれました。

研究フォーラム「IITH-Ritsumeikan SCIENCE WORKSHOP」をインドで開催～日本の私立大学で初インド工科大学ハイデラバード校(IIT-H)との協力協定締結を記念

2月10日(月)、インド工科大学ハイデラバード校(Indian Institute of Technology Hyderabad: IIT-H)において、サイエンスフォーラム“IITH-RITSUMEIKAN SCIENCE WORKSHOP”を開催しました。本フォーラムは、立命館大学とIIT-Hとの間で学術研究交流の推進を目指した包括協定締結を記念し、JICAの支援のもと両大学が協力して企画・実施に至りました。なお、IIT-Hと日本の大学の大学間協定は東京大学、大阪大学に次いで3校目となり、私立大学では初となりました。フォーラムではインドと日本の社会が抱える共通の課題解決に向けた研究が発表され、堤治・生命科学部准教授、鮎山恵・理工学部教授、中島淳・理工学部教授がそれぞれの研究テーマについて紹介し、活発な質疑応答が行なわれました。



立命館大阪梅田キャンパス

2014年度 公開講座のご案内

大阪・京都文化講座(前期)
「水の都」京都と大阪―水辺をめぐる二都物語―

●コーディネーター 永田 靖(大阪大学大学院文学研究科教授)、藤巻 正己(立命館大学文学部教授)

	開催日	講師名	講演タイトル
1	5/19(月)	吉越 昭久(立命館大学文学部特任教授)	近世鴨川の寛文新堤の景観と防災機能
2	5/26(月)	須川 渡(大阪大学大学院文学研究科助教)	人見嘉久彦『琵琶湖疏水下流』と戦後新劇
3	6/2(月)	片平 博文(立命館大学文学部教授)	『賀茂川の水』と白河法皇の苦悩
4	6/9(月)	橋爪 節也(大阪大学総合芸術博物館館長)	都市への画家のまなざし―水都大阪のイメージはどのように絵画化されたか―
5	6/16(月)	瀧本 和成(立命館大学文学部教授)	夏目漱石『虞美人草』と保津川
6	6/23(月)	加賀有津子(大阪大学大学院工学研究科教授)	大阪、京都の水辺景観と都市の魅力づくり
7	6/30(月)	加藤 政洋(立命館大学文学部准教授)	鴨川納涼の空間文化誌
8	7/7(月)	出原 隆俊(大阪大学大学院文学研究科教授)	琵琶湖疏水の文学史

●受講料 1回1,500円(7回以上一括申込の場合、10,000円)

いずれの講座も、

- 会場 立命館大阪梅田キャンパス(大阪富国生命ビル5階)
- 時間 14:00～15:40(講演90分、質疑応答10分)
- 定員 各回130名【先着順】(定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください)
- お問合せ・お申込み先

立命館大阪オフィス(開室時間:月～金 9:00～17:30／休祝日除く)※土日閉室
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階
TEL: 06-6360-4895 FAX: 06-6360-4894 E-mail: osaka-of@st.ritsumei.ac.jp
URL: http://www.ritsumei.jp/osaka_office/index_j.html

立命館東京キャンパス

2014年度 公開講座のご案内

2014年4月開講「立命館西園寺塾」※2014年度の受講生募集は既に終了しました。

学祖・西園寺公望の名を冠した21世紀のグローバルリーダー育成講座「立命館西園寺塾」を開講します。梅原猛氏と稲盛和夫氏を最高顧問に迎え、塾長は安田喜憲・国際日本文化研究センター名誉教授が務めます。詳細は、立命館西園寺塾ホームページをご覧ください。

●立命館西園寺塾 <http://www.ritsumei.ac.jp/saionji-juku/>

「金融と法」東京講座 主催:立命館大学大学院法学研究科
先端金融技術や新しい金融ビジネスモデルをファイナンス理論、法、税務等の総合的視点から検討し、実務に生かすことのできる活きた知識を身につける社会人向け講座です。

●主任教授 大垣 尚志(立命館大学大学院法学研究科教授、金融・法・税務研究センター所長)

●開講日時	前期	4/12(土)～8/1(金)	水・金曜日 18:30～21:40
	後期	9/26(金)～12/13(土)	土曜日 13:00～17:50

お問い合わせ先 立命館東京キャンパス TEL:03-5224-8188
講座の詳細はホームページでご確認ください。
http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/index_j.html

木津川 計 講座(『上方芸能』発行人、元立命館大学教授)
名作映画のロマンティズム―純愛と母性―

	開催日	講演タイトル
1	4/25(金)	「愛染かつら」と川口松太郎の男の純愛
2	6/27(金)	「君の名は」と菊田一夫の慕情一筋
3	8/1(金)	「沓掛時次郎」と長谷川伸の女人讃歌
4	10/24(金)	「離れ簀女おりん」と水上勉の＊永遠の女性。
5	12/12(金)	「幸福の黄色いハンカチ」と山田洋次の切愛
6	2015年2/27(金)	「男はつらいよ」と寅さんの純情と献身

●受講料 全6回受講7,500円(1回ずつの場合1,500円/回)

安斎 育郎 講座(立命館大学名誉教授、安斎科学・平和事務所所長)
安斎育郎 カラオケ歌詞評論

	開催日	講演タイトル
1	5/13(火)	「みだれ髪」(星野哲郎作詞)
2	7/8(火)	「知床旅情」(森繁久彌作詞)
3	9/9(火)	「ダニー・ボーイ」(フレデリック・ウェザリー作詞)
4	11/11(火)	「月月火水木金金」(高橋俊策海軍中佐作詞)
5	2015年1/13(火)	「演歌・血液ガッタガタ」(岡本圭司作詞)
6	2015年3/10(火)	「千の風になって」(新井満・訳詞)

●受講料 全6回受講7,500円(1回ずつの場合1,500円/回)

立命館孔子学院東京学堂 中国語講座 主催:立命館孔子学院
少人数のクラスで、入門から準上級まで実践的なスキルを身につける中国語講座です。詳しくはホームページをご覧ください。

●立命館孔子学院 <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius/>

医療経営講座 主催:立命館大学医療経営研究センター
ドクターのためのMBA講座

●講師 三好 秀和(立命館大学医療経営研究センター 副センター長 兼 事務局長、立命館大学大学院経営管理研究科教授) 他

●開講日時	6/14、6/28、7/12、7/26、 9/6、9/13、9/20	全7回	土曜日 11:00～16:00(休憩1時間)
-------	---------------------------------------	-----	---------------------------

病院施設従事者のための実践交渉学

●講師 秋沢 伸哉(立命館大学大学院経営管理研究科教授)

●開講日時	11/15、11/22、11/29	全3回	土曜日 11:00～16:00(休憩1時間)
-------	-------------------	-----	---------------------------

第8回 税法連続公開東京講座 主催:立命館大学 金融・法・税務研究センター
2014年8月開講予定。



福島の人たちとの

「出会い」と「絆」が活動の原動力

西崎 芽衣 さん(産業社会学部3年生)
「そよ風届け隊」代表

「もう一度会いたい」。福島県の仮設住宅や地域の交流サロンなどで足湯や傾聴活動を中心に活動が続けてきた「そよ風届け隊」(以下「そよ風」)の活動は、福島県で出会った人々への単純でまっすぐな想いから始まった。

「減災×学びプロジェクト」という授業や、立命館大学災害復興支援室が主催する「後方支援スタッフ 第9便」に参加した「そよ風」前代表の森亮太さん(理工5)を含む学生数名が、2012年7月にNPO法人京都災害ボランティアネットが募集した福島県へのボランティア派遣に参加したことが、「そよ風」が福島県を活動の中心に据えた直接のきっかけ。「そよ風」が、「人と人とのつながりづくりのお手伝い」、「現地の方々だけではなく、自分たちも楽しむ」を活動のコンセプトに、福島県での復興支援活動を考えていることを知り、森さんと同じ活動経験があった現代表の西崎芽衣さんも参加を決めた。

準備期間は約2カ月と短かったものの、森さんが現地で出会った学生やいわき市小浜地区復興支援ボランティアセンターに、活動場所、活動内容を相談。ボランティアが不足しているいわき市で活動することを決め、2013年2月に第1期、3月に第2期の活動を実施することに。第1期では、いわき市内の仮設住宅で足湯をしながら住民の皆さんに集まってもらい、リラックスした雰囲気の中でお話を伺う傾聴活動を実施。



第4期活動実施時の写真

が半減。一時的に活動休止状態に陥った。そんな中、本格的に活動を再開することができたのは、活動を通じて出会った人々からの声があったからだ。「次はいつ来てくれるの?」、西崎さんが文通をしていた仮設住宅のお年寄りからの手紙には、活動再開への期待が綴られていた。また、第1期、第2期の参加学生からの「もう一度福島県で活動したい」という声もあった。これまでの活動で出会った人々との「絆」が後押しとなり、2013年8月に「そよ風」スタッフのみで活動を再開。第4期として2013年12月に一般の参加者も募り、本格的に活動を始めた。

「そよ風」の活動で結成当初から一貫していることは、スタッフも現地の皆さんも、関わっている人全員が笑顔であるということ。必要以上に構えることなく、「福島県にいる友人に会いに行く」といった気持ちで取り組んでいるからこそ、活動する側、される側、そしてすべての人に笑顔を生み出す原動力となっている。

「これからはそれぞれの仮設住宅が抱える課題やニーズに合わせて、足湯や傾聴活動以外の活動も行なっていきたい。同じ被害を繰り返さないためにも経験を周囲に伝えていく。助け合える人と人とのつながりは大切です。福島県だけでなく、身近な地域でも人と人とのつながりづくり、街づくりに関わっていきたい」と、今後への抱負を語ってくれた西崎さん。「そよ風」の福島県、そして身近な地域での「つながりづくり、まちづくり」はこれからも続いていく。



「そよ風届け隊」の活動の様子が掲載された「Beyond Borders」のポスターが、2014年3月の1ヶ月間、関西圏を走るJR線快速電車で掲出されています。

立命館CLUB

立命館の“いま”が て届く!!

立命館大学の無料メールマガジン。全国約4,200名の方にご愛読いただき、大好評です。ご入会お待ちしております!! 詳しくは、Webへ

立命館CLUB

検索

WEB

www.ritsumei.ac.jp/rclub/



受賞・受賞

渡 博文氏 ('54法入学)
鹿児島県宇校村名誉村民章

高丸 齋氏 ('54法)
第4回ならビューティフルシニア

乾 友紀子氏 ('13経営)
京都新聞大賞スポーツ賞

就任 (内定含む)

野崎秀則氏 ('82理工)
(株) オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長
2013年12月20日就任

國米利政氏 ('83理工)
富士変速機 (株) 代表取締役社長
3月20日就任予定

訃報

吉成克則氏 ('81産社)
徳島県高等学校特別支援学校部会長
1月15日ご逝去。57歳

金井淳二氏
本学名誉教授
1月25日ご逝去。68歳

小川竹二氏 ('60経済)
新潟県校友会前副会長
2月18日ご逝去。76歳

BOOKS  校友会へご惠贈くださいました本の中から紹介させていただきます。

◆ 香川貴志氏 ('86院文修) 共訳
『よみがえる神戸』
海青社 * 3600円 + 税

◆ 佐藤豊行氏 ('71法) 著
『半夏生』
くらしき文章工房 * 1500円

◆ 川村匡由氏 ('69文) 著
『介護保険再点検』
ミネルヴァ書房 * 3500円 + 税

◆ 中島克幸氏 ('85法) 著
『江戸・東京のドラマを訪ねて』
文芸社 * 1400円 + 税

R Alumni

資格取得サポートサービス

資格あ〜る^R

立命館大学校友会では、校友のみなさまのステップアップに向けた
資格取得のサポートサービスを実施しています! 詳しくは、下記へ



校友会HP [立命 校友 検索](http://alumni.ritsumei.jp/) <http://alumni.ritsumei.jp/> → 『資格あ〜る』

編 集 室 か ら

表

紙「輝くひと」の連載開始は163号、1993年5月19日。256号
でついに丸21年になりました。写真担当冥利に尽きます。継続
は力なりと申しますが、汲めども尽きず人材の宝箱です。今号の十倉さ
ん、すでにお馴染みの母校女子駅伝チームのコーチです。曰く、何処
の競技に参加しても「打倒立命館」全てアウェー! 校友の応援、とりわ
け競技中の街路での旗振り声掛けが励みになっているとのこと、全国ど
こで競技しても色々苦勞が有るようです。そこいら辺りを応援できる「女
子マラ応援校友会」なんて出来たら面白いだろうと妄想いたしました。
さて校友会も創立100周年が視野に入りだしました。私が先輩諸氏か
ら頂いたバトンを若い世代に渡す時期が「今でしょ!」。豊富な人材一
歩前に出でよ! (オ)

3

年連続でジュリーネタから(笑)。四十数年ぶりの再結成が実現
したタイガース復活コンサートに、大阪のドーム会場は3万人の
ファンが会場を埋め尽くした。アリーナ席・前から9列目という幸運、す
ぐ後ろは、かの有名な舞台女優。「ジュリー!」野太い声に負けじとこち
らも声をからす。ドラムのピーこと腫みのる氏は慶応高校で漢文の先生
に。教え子が、いまUSJの広報室長。社会に出て、大学の校友の繋が
りのありがたさを痛感する。今年は黒田官兵衛ゆかりの地取材で、もう
物語の終盤の地・福岡まで行ってきた。観光ボランティアで活躍する校
友と遭遇。初対面なのに知らぬ地で遭う後輩は、懐かしい。青春時
代を同じ京都のキャンパスで過ごしたというそれだけのことが、とても大
きい。 (高橋英子)

広

小路学舎(京都御苑「清和院御門」前)の北、京都御苑「石薬
師御門」前に生まれ育った私は、母校の図書館に勤務していた
父が遺してくれたこの地に、昨秋、50代も後半になりようやく自身の司
法書士・行政書士の事務所を建てる事ができました。階上に併設した
4戸の女子学生用ワンルームマンションでも、妻の母校・同志社の学生
たちが生活を始めました。彼女たちをはじめ、多くの若者が毎朝元気に
登校する姿がこの界隈の日常風景です。

時代と共に周辺の景色が変わりゆく中、幼い頃はセミ捕り、立命館高
校時代は山岳部のトレーニング、大学時代は法律相談部の活動の合間
に散策をした京都御苑、そして比叡山、鴨川。校歌に歌われる風景は昔
のままで、今も訪れる卒業生たちを迎えてくれます。 (宮西徳明)

職

業柄、年末年始に多くのアルバイトを雇用する。例年、その中の
立命館現役生と接する機会があるのだが、その際に感銘を受け
たことがあった。新年の集いの来賓にフランス政府の外交官が出席さ
れたが、その方にスピーチをお願いするにあたって、どうしても発音で
困っていた。すると副専攻でフランス語を履修している現役女子学生が
正確な発音を聞かせてくれ、無事事なきを得た。副専攻ですらこれだけ
のスキルを習得している事に、今の大学での指導レベルの一端を知っ
た気がし、嬉しくなった。また男子ホッケー部の年間必勝祈願の奉仕を
したが、部員たちの一条乱れぬ礼儀正しきにも感銘を受けた。どうやら
母校は、新校舎などのニュースだけでなくその学びの質についても確実
な階段を上り続けているようである。 (乾)



BOOKS FOR BOOKS

～立命館の本活～



2013年4月～2014年1月に**888名**の方々から**4万562冊**の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。

引き続き、校友の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

●どのような仕組みですか？



●よくあるご質問

Q: 書籍は中がきれいであればいいませんか？たとえば、鉛筆で線が引かれたものは対象外ですか？

A: 書き込みがあった場合でも対象になります（ただし、一定の減額になります）。

●手続きの方法は？

① 書籍を段ボール箱に入れる。

② 電話（バリューブックス 0120-826-292）かWEBで集荷を依頼する。

※お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください

※5冊以上であれば送料は無料です

詳しくは **WEB** をご覧ください。

お問合せ先 学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL: 075-813-8110 (平日 9:00 ～ 17:30)

お申込みに関してのご注意

買取額は市場価格等を考慮して（株）バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申込みいただくに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

BOOKS FOR BOOKS ～立命館の本活～申込書

1. 本申込書記入者（以下、私）は、私が所有する書籍等を株式会社バリューブックスに引き渡し、その売却代金を学校法人立命館が受領することをもって、私からの寄付とするものであることを確認します（現物寄付ではありません）。
2. 私は、株式会社バリューブックスおよび学校法人立命館に対し、理由を問わず、本件書籍等の返還、および買取相当額の支払いを請求いたしません。
3. 私は、株式会社バリューブックスと学校法人立命館が、本申込書に記載された氏名等の個人情報をご本プロジェクトならびに学校法人立命館の活動目的にのみ使用することを了承します。

ご記入日 年 月 日 **送付段ボール箱数** 箱

学校法人立命館 理事長 長田豊臣殿

学校法人立命館の設置する学校の教育および研究の充実のために本物品の売却代金を寄付します。

フリガナ

お名前

生年月日 西暦（ ）年（ ）月（ ）日

住所 (〒 -)

電話番号

E-mail @

寄付目的 立命館学園の図書充実のため

本学との関係(任意)

- ☐ 卒業生 卒業 西暦（ ）年 卒業校・学部（ ）
☐ 教職員 ☐ 元教職員 ☐ 在校生父母・卒業生父母
 お子様の在籍校・卒業校（ ）

今後、本学の各種行事等のご案内を差し上げる場合がございます。 ☐ 案内等を希望しない
 希望されない方は右記にチェックをしてください。

事務局記載欄 **買取価格** 円 **団体ID** 98

<キリトリ>

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

2014年度春季特別展

奪われた野にも春は来るか 鄭周河写真展

2011年11月、原発事故後の福島被災地を撮影した韓国の写真家、鄭周河。被災地の厳しくも美しい風景を静かに映した作品は見る者を深い省察へと導きます。



©정주하 鄭周河 2012

関連企画 ※当日観覧料が必要です

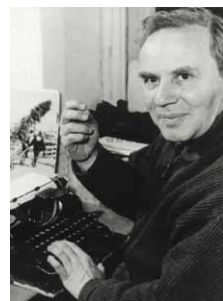
- ① 5月3日(土) 13:30～15:30
 鄭周河(写真家) x 河津聖恵(詩人) x 徐京植(作家) によるオープニングトーク
 ② 6月7日(土) 13:30～15:30
 高橋哲哉(東京大学教授・哲学) x 庵造由香(立命館大学准教授・朝鮮史) x 学生からの発言によるトークセッション

第86回ミニ企画展示

ロベルト・ユンクの生涯 ヒロシマを世界に伝える 一核の被害なき未来を求めて一

ヒロシマに学び、反核・平和から脱原発・緑の運動へ、核被害なき未来を求めたロベルト・ユンクの生涯をたどる巡回展。

企画：ユンク科研グループ



ロベルト・ユンク(1913-1994)
 ロベルト・ユンク未来問題図書館蔵

第85回ミニ企画展示 ベトナム戦争の傷痕

ベトナム戦争終結後のめざましい経済発展の影で、戦争の傷を負いながらもひっそりと今を生きる人々の想いに迫る、フォトジャーナリスト村山康文の写真展。

第87回ミニ企画展示 カンボジアの子ども達

本学スポーツ健康科学部自主ゼミの学生達が、2013年5月にカンボジアの小学校で出会った子ども達の暮らしを写した写真展。

会 期

2014年度 春季特別展 奪われた野にも春は来るか 鄭周河写真展 5月3日(土・祝)～7月19日(土)

第85回 ミニ企画展示 ベトナム戦争の傷痕 4月3日(木)～29日(火・祝)

第86回 ミニ企画展示 ロベルト・ユンクの生涯「ヒロシマを世界に伝える一核の被害なき未来を求めて一」 5月13日(火)～6月1日(日)

第87回 ミニ企画展示 カンボジアの子ども達 6月7日(土)～7月6日(日)

開館時間

午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日

月曜日・祝日の翌日
 (ただし5/5(月)は開館。3/22(土)、4/30(水)、5/6(火)は休館)

観覧料

一般400円(350円) / 中・高生300円(250円) / 小学生200円(150円)
 ()は20名以上の団体料金/障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料
 常設展示(地階・2階)は、上記展示期間以外でも見学することができます。

立命館大学国際平和ミュージアム 常設展
校友招待券
 有効期間 2014年6月15日(水)まで
 (校友名簿へ登録必須)
 No.256



りつめい No.256／2014年4月号

発行所／立命館大学校友会／年4回発行

発行人／村上健治

編集人／中村和歳

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumeijp>

E-mail : alumni@st.ritsumeijp